

平成29年度

かいづのこども



海津市学校保健会

はじめに

いつも海津市学校保健会に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度は海津市学校保健会にとりまして、とても重要で大変な年でした。さる10月22日に海津市文化センターにおいて、海津市学校保健会が主体となって、第38回東海ブロック学校保健研究大会を兼ねた第56回岐阜県学校保健研究大会を取り行わせていただきました。そして、多くの様々な職種の方々が献身的に運営に協力くださり、季節外れの大型台風が近づき大雨や強風の中を、また、衆議院選挙日のところを多くの方々に来ていただき盛大に行うことができました。実行委員長の立場として関わらせていただいた私は本当に頭の下がる思いでした。これも多くの方々が、将来を担う子どもたちがいかに大切であるかという確固たる思いからにほかなりません。

近年の重要性が増した学校保健教育の分野において、海津市内の関係する職種の専門家や代表者が集まり、それぞれの観点から将来を担う大切な宝である子どもたちの育成についてサポートすることを目的としているのが海津市学校保健会であります。私が前会長の寺倉俊勝先生から会長職を引き継いだのは平成20年の4月のことでした。あれから早や10年が過ぎようとしておりますが、思い返しますと、海津市学校保健会にご尽力いただいた多くの方々のお顔が走馬灯のように脳裏を横切ります。そして、そのようなご尽力、ご協力いただいた皆さま方のお考えのレシピが詰まった海津市学校保健会を今後も引き継ぎ、さらに益々磨き上げ、子どもたちに還元していかなければなりません。

その手引きとして、多くの方々のご努力やご尽力によって、年に一度発刊されますこの冊子「かいづのこども」は、大きく寄与するものと確信しております。この冊子を基に、関係される皆様方が今後ますます研鑽されて、子どもたちが心身ともにバランスの良い発育ができるように一層ご活躍くださることを心から祈念しております。

今後とも益々、海津市学校保健会に皆さま方ご協力とご尽力をいただけることを心からお願い申し上げ、はじめの挨拶とさせていただきます。

平成30年1月吉日

海津市学校保健会

会 長 辻中 正壮

目 次

I 発育状況

(1) 平成29年度海津市体格の平均	
①小学校	1
②中学校	3
③年令別体格の平均値（海津市・全国）の比較	4
④市と全国との体格の差	5
(2) 肥満度による栄養状態の判定	
①学校別比較グラフ	6
②学年別比較グラフ	8
(3) BMI 値による栄養状態の判定	9

II 健康状況

(1) 歯科の状況	
①小学校	10
②中学校	11
③学年別う歯の状況（小・中学校）	12
(2) 視力の状況	
①小学校	13
②中学校	14
③学年別視力の状況（小・中学校）	15
(3) 疾病・異常の状況等（健康診断）	
①小学校	16
②中学校	20

III 体力の状況

(1) 小学校運動能力テストの結果	24
(2) 中学校運動能力テストの結果	26

I 発育状況

(1)平成29年度海津市体格の平均

①小学校

(男子)

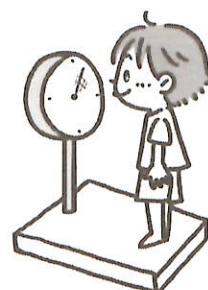
(単位:cm)

	年齢	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小
身長	6	(29)	(13)	(4)	(8)	(7)	(11)	(9)	(32)	(22)	(7)
		115.5	116.0	112.2	119.1	119.2	116.5	114.4	119.4	114.6	117.1
	7	(22)	(8)	(6)	(3)	(9)	(22)	(5)	(24)	(23)	(10)
		122.2	125.6	125.5	126.4	123.4	120.2	121.4	122.4	122.7	126.6
	8	(24)	(7)	(7)	(2)	(10)	(18)	(8)	(32)	(36)	(8)
		125.7	127.7	126.4	132.2	129.8	128.3	126.1	128.2	127.2	128.3
	9	(26)	(6)	(6)	(5)	(5)	(21)	(11)	(24)	(19)	(8)
		132.7	136.9	130.6	130.4	133.2	132.4	135.3	132.1	134.6	133.7
	10	(36)	(8)	(8)	(9)	(3)	(29)	(5)	(34)	(23)	(8)
		138.1	139.7	141.9	137.0	137.2	139.6	140.1	138.2	140.4	138.8
	11	(38)	(3)	(5)	(9)	(7)	(17)	(9)	(22)	(22)	(11)
		142.9	143.1	146.0	146.8	139.7	147.9	145.8	147.0	148.1	145.9

()は測定人数

(単位:kg)

体重	6	20.6	20.4	19.3	22.3	22.6	20.7	20.6	22.8	20.4	21.1
	7	23.6	27.6	25.4	25.1	25.5	22.3	22.6	24.7	23.1	27.5
	8	26.4	27.2	26.7	32.3	29.8	26.1	26.8	26.9	26.4	28.8
	9	29.7	32.1	28.4	26.1	27.9	29.2	30.2	31.3	30.9	31.4
	10	32.7	37.0	39.4	32.4	32.0	35.9	37.5	33.9	37.2	33.6
	11	36.5	37.6	41.7	38.7	36.1	42.1	40.6	40.1	40.7	39.2



(女子)

(単位:cm)

	年齢	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小
身長	6	(27)	(4)	(7)	(7)	(6)	(18)	(11)	(10)	(17)	(14)
		113.8	118.3	112.4	117.1	114.5	116.5	114.9	116.6	114.2	114.6
	7	(20)	(6)	(8)	(3)	(7)	(16)	(9)	(24)	(25)	(6)
		120.2	121.9	117.5	119.1	120.6	121.1	120.4	121.9	119.9	121.2
	8	(30)	(2)	(4)	(8)	(10)	(14)	(3)	(32)	(25)	(6)
		124.1	124.9	128.6	127.8	128.9	126.8	136.3	127.5	127.1	127.0
	9	(28)	(9)	(5)	(6)	(9)	(17)	(6)	(24)	(20)	(5)
		132.7	132.2	135.3	134.6	135.1	132.3	133.2	133.8	134.0	132.3
	10	(30)	(6)	(6)	(8)	(5)	(15)	(12)	(31)	(27)	(11)
		141.2	140.4	142.2	141.1	147.9	138.6	137.1	137.9	140.1	136.4
	11	(27)	(9)	(5)	(2)	(9)	(22)	(11)	(23)	(15)	(6)
		147.2	148.2	136.4	147.9	147.7	146.2	142.6	146.7	143.5	144.8

()は測定人数

(単位:kg)

体重	6	19.2	21.8	19.5	22.1	21.2	21.2	21.0	21.2	19.8	20.0
	7	22.5	23.3	20.7	23.8	21.6	22.8	26.2	23.7	23.4	23.4
	8	24.2	23.1	27.3	26.5	29.7	24.8	34.3	27.3	26.4	25.6
	9	27.6	30.4	32.9	30.8	32.3	28.2	28.5	29.9	30.3	29.3
	10	33.7	32.1	36.4	34.7	35.0	32.1	30.8	32.7	34.6	31.7
	11	38.1	37.9	32.2	44.8	37.0	37.6	37.5	40.1	41.1	39.2



②中学校

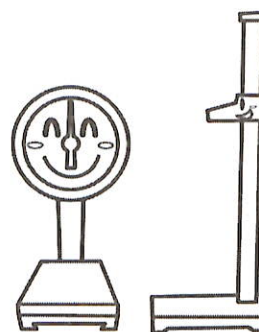
(単位:cm)

	年齢	男 子			女 子		
		日新中	平田中	城南中	日新中	平田中	城南中
身長	12	(64)	(33)	(54)	(50)	(26)	(67)
		152.6	153.2	153.2	150.3	150.6	151.7
	13	(71)	(32)	(65)	(55)	(35)	(74)
		159.9	158.5	159.7	155.0	155.5	153.7
	14	(61)	(30)	(52)	(70)	(34)	(70)
		165.2	166.0	164.2	156.6	154.0	155.7

()は測定人数

(単位:kg)

体重	12	45.8	42.5	42.8	41.5	45.7	42.9
	13	48.9	46.6	50.2	45.0	46.8	47.8
	14	54.7	55.1	56.0	50.4	50.1	50.5

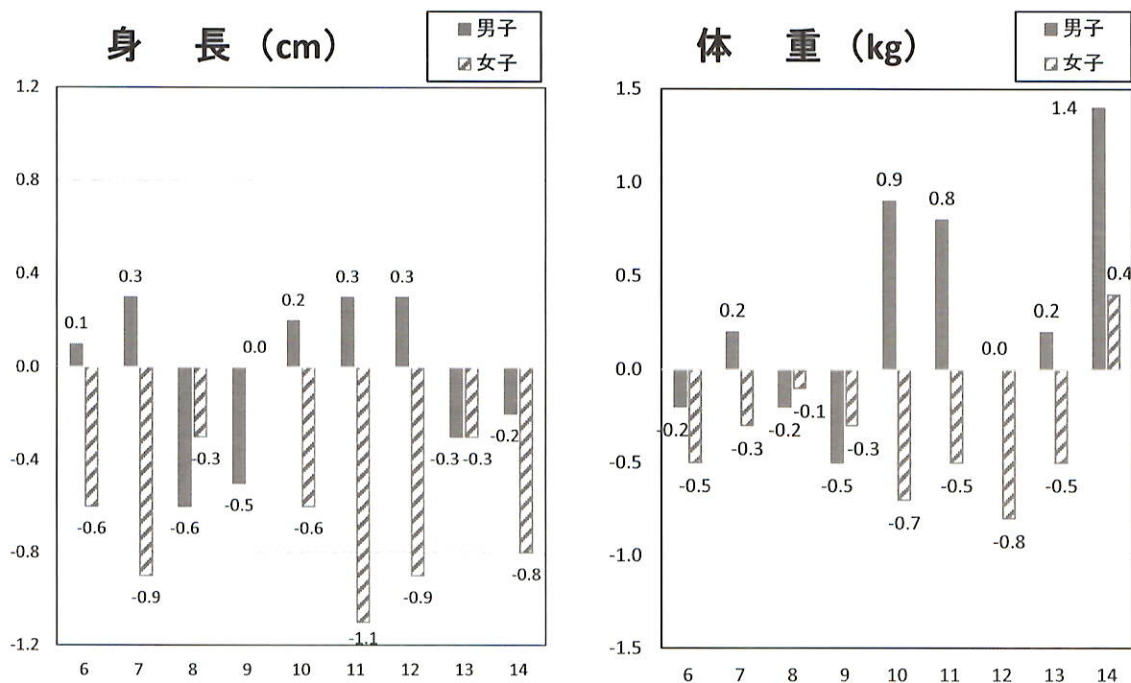


③年齢別体格の平均値(海津市・全国)の比較

(全国平均は平成 28年度)

		年齢	身長			体重		
			市	全国	差	市	全国	差
男 子	小学校	6	116.6	116.5	0.1	21.2	21.4	-0.2
		7	122.8	122.5	0.3	24.2	24	0.2
		8	127.5	128.1	-0.6	27.0	27.2	-0.2
		9	133.1	133.6	-0.5	30.1	30.6	-0.5
		10	139.0	138.8	0.2	34.9	34	0.9
		11	145.5	145.2	0.3	39.2	38.4	0.8
	中学校	12	153.0	152.7	0.3	44.0	44	0.0
		13	159.6	159.9	-0.3	49.0	48.8	0.2
		14	165.0	165.2	-0.2	55.3	53.9	1.4
女 子	小学校	6	115.0	115.6	-0.6	20.4	20.9	-0.5
		7	120.6	121.5	-0.9	23.2	23.5	-0.3
		8	126.9	127.2	-0.3	26.3	26.4	-0.1
		9	133.4	133.4	0.0	29.5	29.8	-0.3
		10	139.6	140.2	-0.6	33.3	34	-0.7
		11	145.7	146.8	-1.1	38.5	39	-0.5
	中学校	12	151.0	151.9	-0.9	42.9	43.7	-0.8
		13	154.5	154.8	-0.3	46.7	47.2	-0.5
		14	155.7	156.5	-0.8	50.4	50	0.4

④市と全国との体格の差



〈注意〉 肥満度による体格判断

栄養不良または肥満・やせ傾向は、次のような身長別標準体重をもとに肥満度を算出する。

$$\text{肥満度} = \frac{\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}}{\text{身長別標準体重 (kg)}} \times 100\%$$

〈判定基準〉 +20%以上を肥満傾向、-20%以下をやせ傾向とする。

+20%以上+30%未満: 軽度肥満
 +30%以上+50%未満: 中等度肥満
 +50%以上: 高度肥満
 -20%以下: やせ傾向
 -30%以下: 高度やせ

■ 発育状況の考察 ■

〈小学校〉

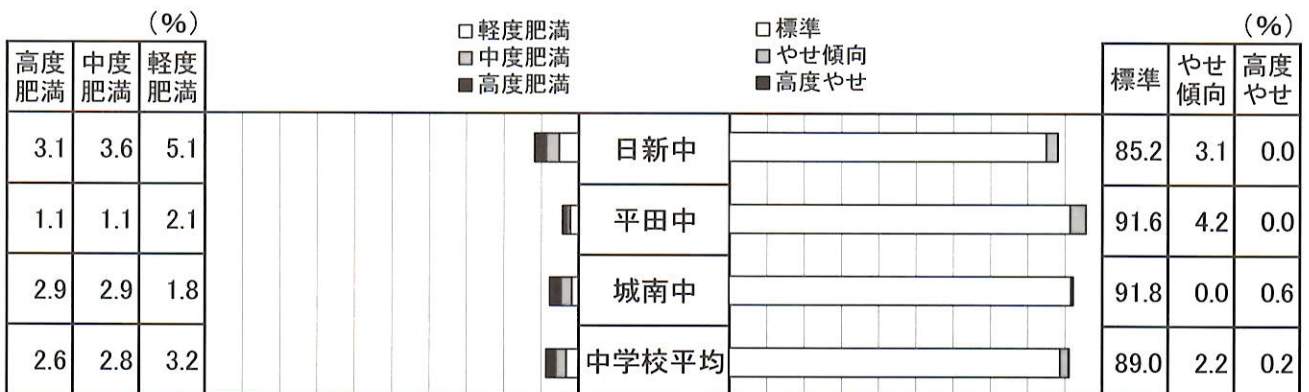
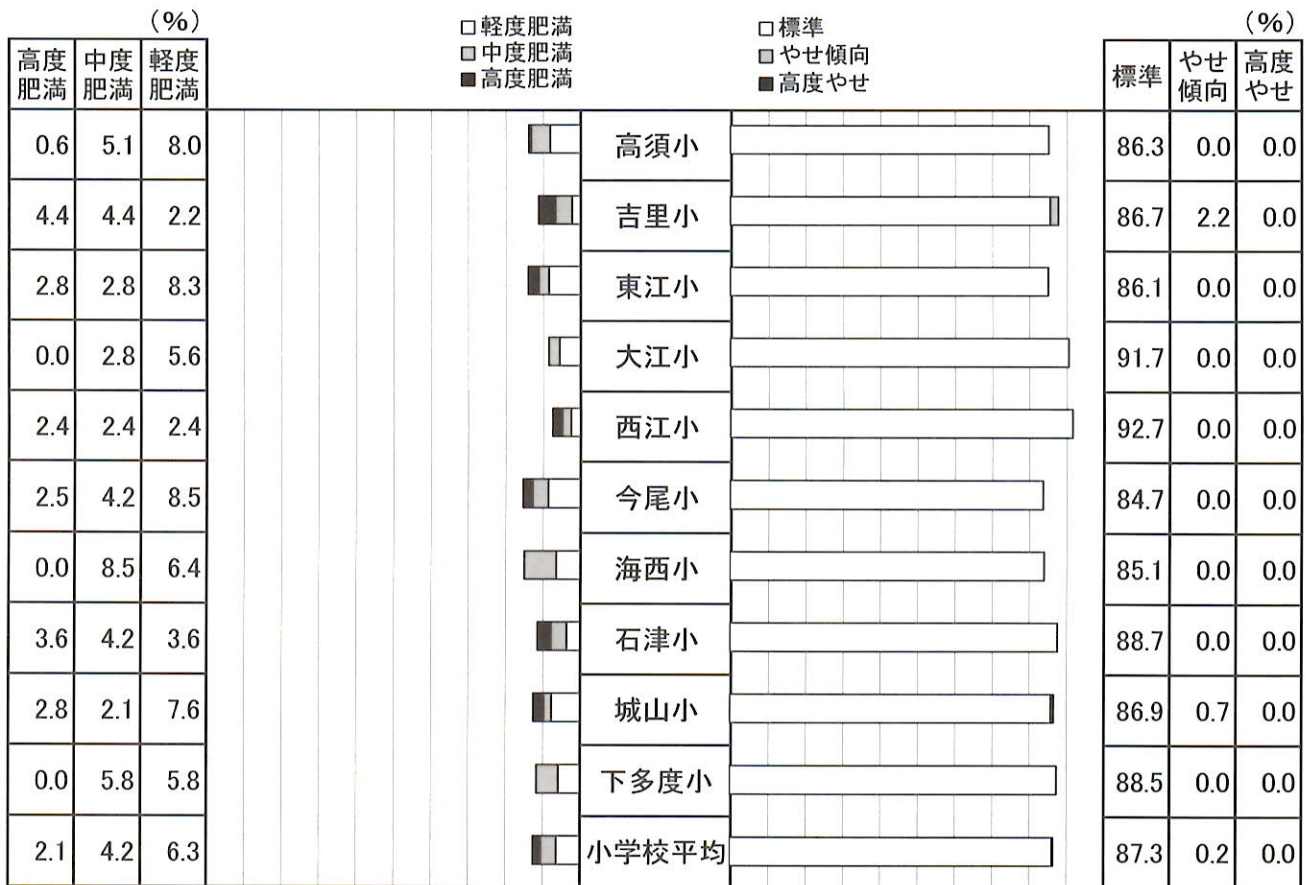
- ・身長では、3・4年男子は全国平均を下回っている。女子はすべての学年で下回っている。
- ・男子は5・6年に肥満傾向の児童が多い。
- ・女子は6年に中度軽度肥満傾向の児童が多い。

〈中学校〉

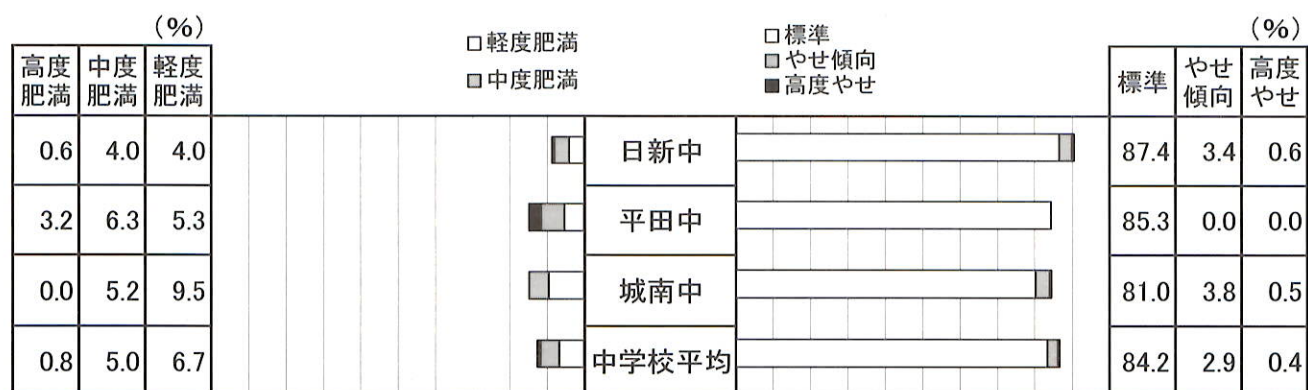
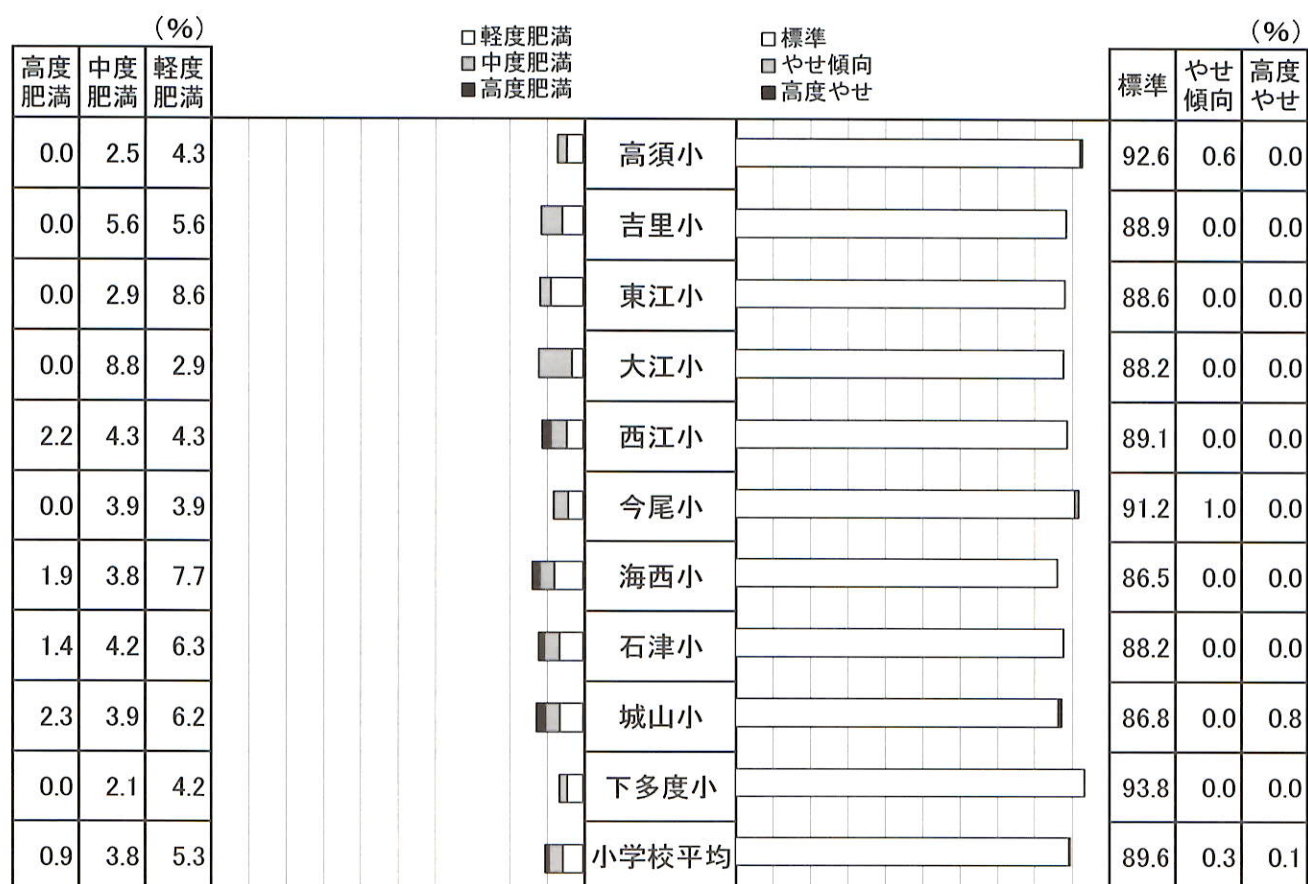
- ・身長では、1年男子以外全国平均を下回っている。女子はすべての学年で下回っている。
- ・3年男子においては肥満傾向はさほど多くないが、体重が平均を大きく上回っている。

(2) 肥満度による栄養状態の判定

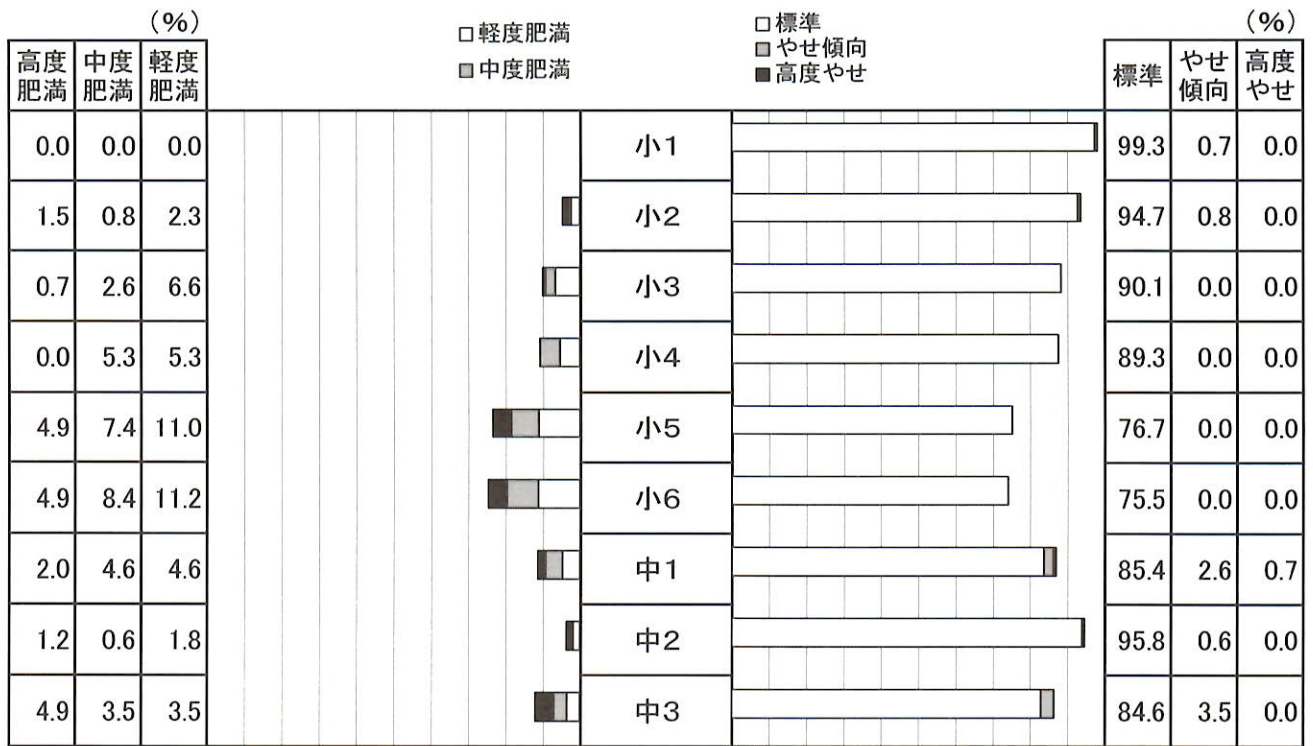
① 学校別比較グラフ(男子)



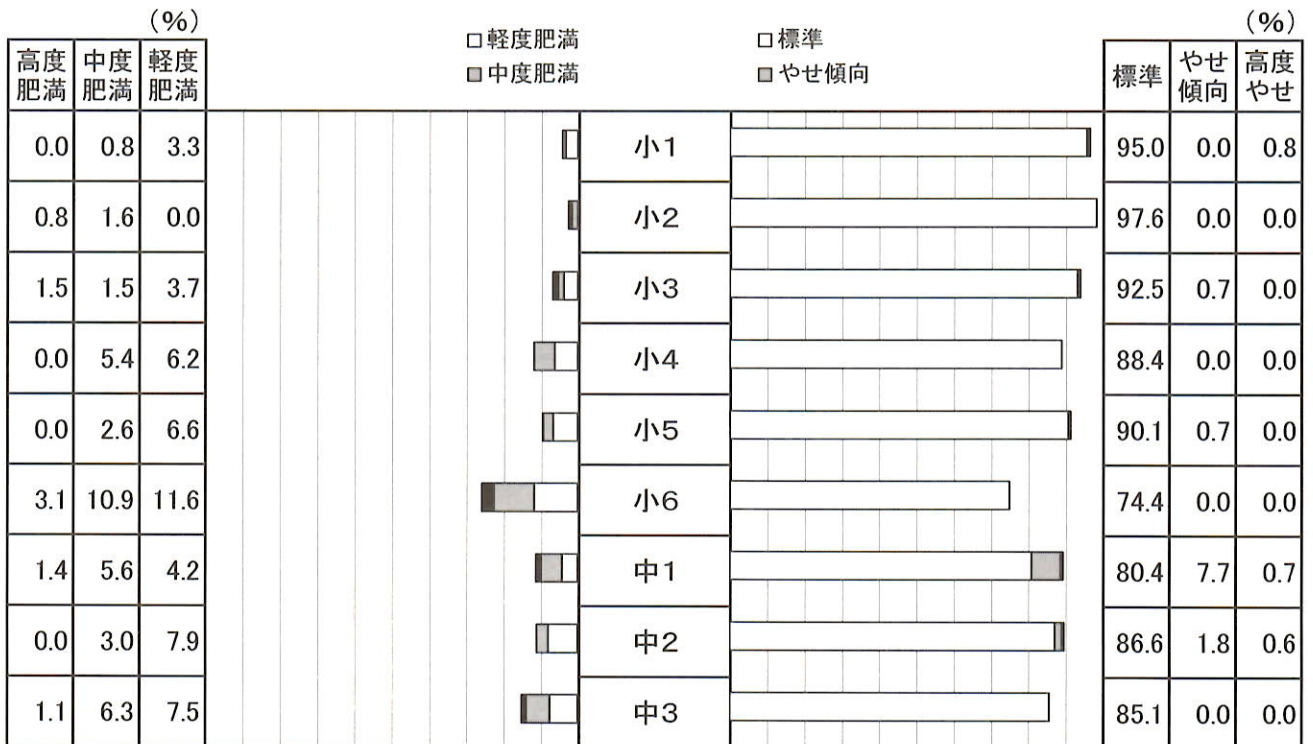
(女子)



③学年別比較グラフ(男子)



(女子)



(3)BMI値による栄養状態の判定(中学のみ)

学校別比較グラフ

(男子)

□ やせ

■ 標準

■ 肥満

	やせ 18.0未満	標準 18.0～25.0	肥満 25.0以上
日新中	44.9	48.5	6.6
平田中	42.1	55.8	2.1
城南中	37.4	56.1	6.4
中学校平均	41.6	52.8	5.6

(女子)

□ やせ

■ 標準

■ 肥満

	やせ 18.0未満	標準 18.0～25.0	肥満 25.0以上
日新中	32.6	61.1	6.3
平田中	24.2	67.4	8.4
城南中	25.1	71.1	3.8
中学校平均	27.7	66.7	5.6

学年別比較グラフ

(男子)

□ やせ

■ 標準

■ 肥満

	やせ 18.0未満	標準 18.0～25.0	肥満 25.0以上
中1	52.3	41.1	6.6
中2	40.5	57.7	1.8
中3	31.5	59.4	9.1

(女子)

□ やせ

■ 標準

■ 肥満

	やせ 18.0未満	標準 18.0～25.0	肥満 25.0以上
中1	44.8	51.0	4.2
中2	30.5	65.9	3.7
中3	10.9	80.5	8.6

Ⅱ 健康状況

(1) 歯科の状況

① 小学校

(男子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均	全国平均
う歯所有者率	60.0	64.4	38.9	61.1	70.7	50.8	43.8	52.4	50.3	50.0	54.1	50.6
処置完了者率	33.1	22.2	30.6	38.9	51.2	24.6	20.8	31.5	24.8	26.9	29.6	25.3
未処置歯所有者率	26.9	42.2	8.3	22.2	19.5	26.3	22.9	20.8	25.5	23.1	24.4	25.2
歯列・咬合	28.0	4.4	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.4	5.8	7.3	4.5
顎関節	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1
歯垢の状態	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	0.0	1.8	1.4	0.0	3.2	3.6
歯肉の状態	5.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.6	2.1	0.0	1.9	2.3
その他の疾病・異常	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6	0.0	1.4	1.9	1.3	6.8

(女子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均	全国平均
う歯所有者率	72.8	44.4	58.8	21.2	78.7	41.2	25.0	54.2	48.5	56.3	53.9	47.2
処置完了者率	40.1	19.4	41.2	18.2	51.1	29.4	23.1	32.3	30.8	27.1	32.7	24.1
未処置歯所有者率	32.7	25.0	17.6	12.1	27.7	11.8	3.8	21.9	17.7	29.2	21.3	23.0
歯列・咬合	35.8	0.0	17.6	0.0	2.1	0.0	0.0	0.6	2.3	2.1	8.8	5.0
顎関節	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1
歯垢の状態	2.5	2.8	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.9	0.8	0.0	1.3	2.6
歯肉の状態	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
その他の疾病・異常	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	1.8	6.8

②中学校

(男子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	日 新 中	平 田 中	城 南 中	市 平 均	全 国 平 均
う 歯 所 有 者 率	31.8	25.3	50.0	37.3	36.3
処 置 完 了 者 率	7.1	12.6	40.9	20.9	19.9
未 処 置 歯 所 有 者 率	24.7	12.6	9.1	16.4	16.4
歯 列 ・ 咬 合	48.5	3.2	6.3	23.5	5.2
顎 関 節	3.5	3.2	0.0	2.1	0.4
歯 垢 の 状 態	26.8	4.2	8.5	15.4	6.7
歯 肉 の 状 態	20.7	1.1	8.0	11.9	5.7
その他の疾病・異常	9.1	0.0	0.0	3.8	4.5
処 置 歯 率	36.4	26.7	82.1	55.2	
未 処 置 歯 率	63.6	73.3	17.9	44.8	

※処置歯率・未処置歯率は、1年生の永久歯のう歯。

(女子)

(永久歯・乳歯)

(%)

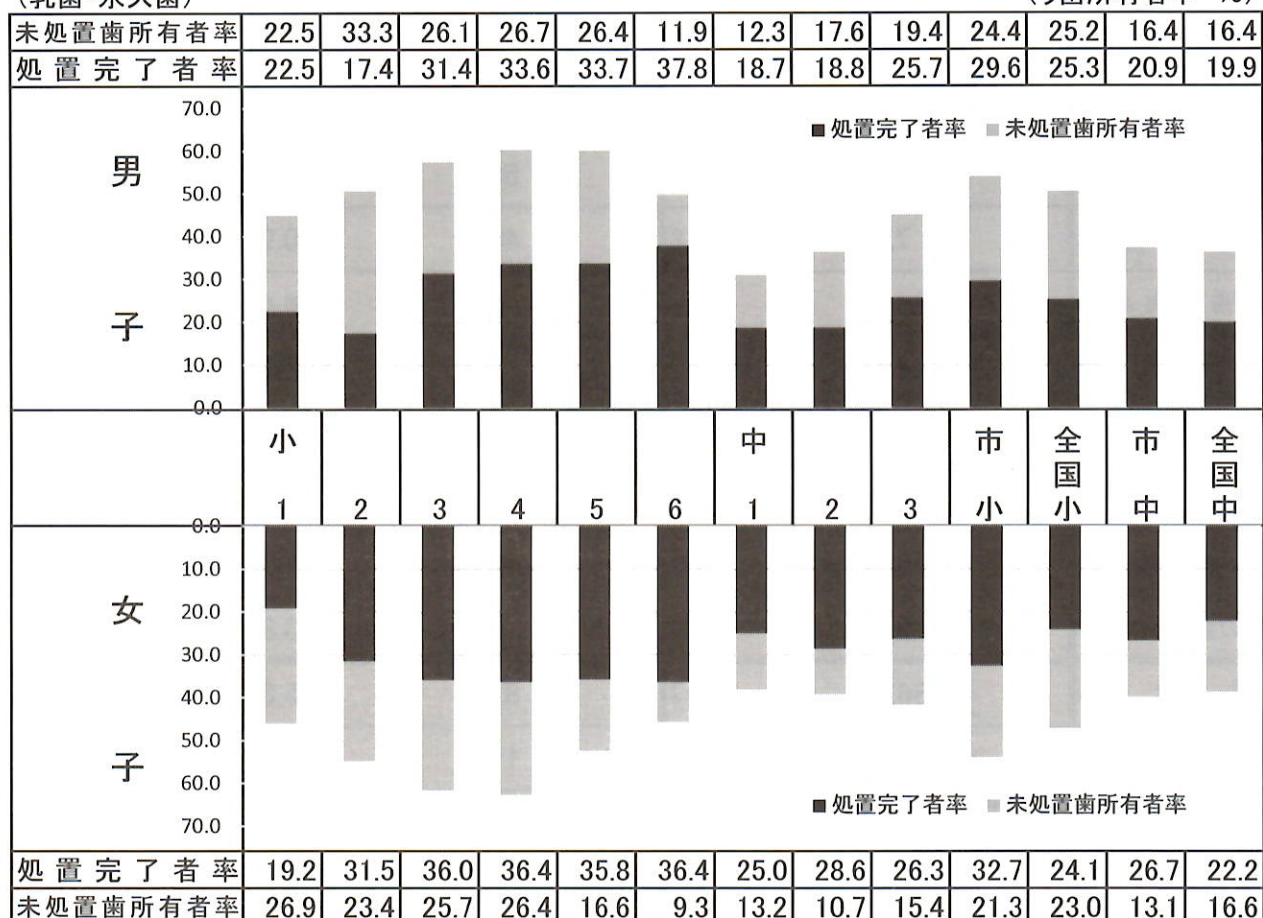
	日 新 中	平 田 中	城 南 中	市 平 均	全 国 平 均
う 歯 所 有 者 率	33.1	26.3	51.2	39.8	38.8
処 置 完 了 者 率	13.1	12.6	43.8	26.7	22.2
未 処 置 歯 所 有 者 率	20.0	13.7	7.4	13.1	16.6
歯 列 ・ 咬 合	44.0	4.2	5.1	18.9	5.6
顎 関 節	6.3	1.1	0.0	2.5	0.5
歯 垢 の 状 態	20.0	1.1	3.2	8.8	4.0
歯 肉 の 状 態	14.3	0.0	1.8	6.0	3.4
その他の疾病・異常	9.7	0.0	0.0	3.5	3.7
処 置 歯 率	24.0	54.5	84.6	68.4	
未 処 置 歯 率	76.0	45.5	15.4	31.6	

※処置歯率・未処置歯率は、1年生の永久歯のう歯。

③学年別う歯の状況(小・中学校)

(乳歯・永久歯)

(う歯所有者率 %)



う歯所有者率 = $\frac{\text{う歯所有者数}}{\text{検査人数}} \times 100$	処置歯率 = $\frac{\text{処置歯総数}}{\text{う歯総数}} \times 100$
処置完了者率 = $\frac{\text{処置完了者数}}{\text{検査人数}} \times 100$	未処置歯率 = $\frac{\text{未処置歯数}}{\text{う歯総数}} \times 100$
未処置歯所有者率 = $\frac{\text{未処置歯所有者数}}{\text{検査人数}} \times 100$	口腔の疾病異常 = $\frac{\text{口腔の疾病異常者数}}{\text{検査人数}} \times 100$

・口腔の疾病異常には、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

■う歯の状況の考察■

- ・市平均と全国平均を比較した時、未処置歯所有者率は中学男子は同じ、それ以外は下回っており、処置完了者率はすべてで上回っている。
- ・歯列・咬合、顎関節などにおいては、小中学校とも学校間の差が大きい。
- ・むし歯のみならず、自分の口腔内の実態を正しく理解させ、早期治療を含めた歯科保健の意識を高め、実践力を身に付けさせたい。

(2) 視力の状況

① 小学校

(男子)

		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均		全国平均
												計(人)	%	
検 査 人 数		175	45	36	36	41	118	48	168	145	52	864		
0.3 未 満	非 矯 正	8	1	1	0	0	4	2	3	3	0	22	2.5	7.5
	矯 正	12	2	1	3	1	13	2	0	5	3	42	4.9	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	10	5	1	0	1	7	2	15	4	1	46	5.3	10.5
	矯 正	3	0	4	0	0	2	0	0	6	6	21	2.4	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	13	6	2	4	6	5	5	30	22	3	96	11.1	10.2
	矯 正	2	1	0	1	1	1	0	0	1	2	9	1.0	
矯正視力のみ測定		0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	13	1.5	
計		48	15	9	8	9	32	11	61	41	15	249	28.8	28.3
%		27.4	33.3	25.0	22.2	22.0	27.1	22.9	36.3	28.3	28.8			

(女子)

		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均		全国平均
												計(人)	%	
検 査 人 数		162	36	34	33	47	102	52	155	130	48	799		
0.3 未 満	非 矯 正	6	0	0	1	1	0	0	3	2	1	14	1.8	9.8
	矯 正	6	5	2	3	0	10	4	0	8	1	39	4.9	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	11	3	2	4	2	4	5	16	9	2	58	7.3	12.9
	矯 正	0	3	5	2	4	6	2	0	1	1	24	3.0	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	20	5	1	3	5	6	5	33	16	0	94	11.8	12.1
	矯 正	1	0	1	1	2	4	1	0	1	1	12	1.5	
矯正視力のみ測定		0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	16	2.0	
計		44	16	11	14	14	30	17	68	37	6	257	32.2	34.8
%		27.2	44.4	32.4	42.4	29.8	29.4	32.7	43.9	28.5	12.5			

②中学校
(男子)

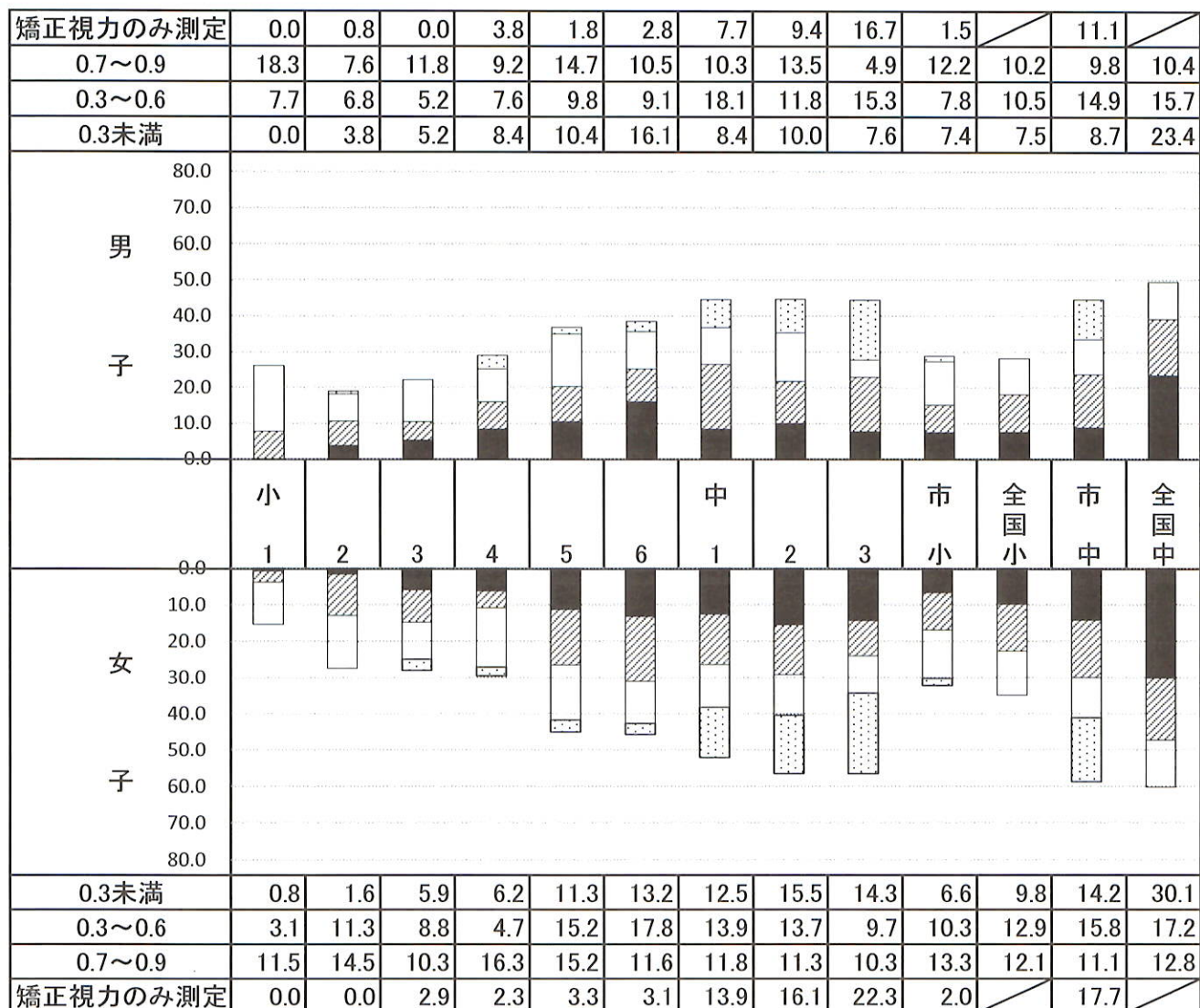
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	市平均		全 国 平 均
					計(人)	%	
検 査 人 数		198	95	176	469		
0.3 未 満	非 矯 正	4	2	8	14	3.0	23.4
	矯 正	24	0	3	27	5.8	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	16	6	16	38	8.1	15.7
	矯 正	11	0	21	32	6.8	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	8	7	17	32	6.8	10.4
	矯 正	0	0	14	14	3.0	
矯正視力のみ測定		7	35	10	52	11.1	
計		70	50	89	209	44.6	49.5
%		35.4	52.6	50.6			

(女子)

		日 新 中	平 田 中	城 南 中	市平均		全 国 平 均
					計(人)	%	
検 査 人 数		175	95	217	487		
0.3 未 満	非 矯 正	10	2	7	19	3.9	30.1
	矯 正	41	0	9	50	10.3	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	12	7	18	37	7.6	17.2
	矯 正	10	0	30	40	8.2	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	8	5	19	32	6.6	12.8
	矯 正	5	0	17	22	4.5	
矯正視力のみ測定		18	42	26	86	17.7	
計		104	56	126	286	58.7	60.1
%		59.4	58.9	58.1			

③学年別視力の状況(小・中学校)

矯正視力のみ測定
 0.7～0.9
 0.3～0.6
 0.3未満



■視力の状況の考察■

- ・小学校・中学校男女と比べると、全体的に女子の方が1.0未満者が多い。
- ・1.0未満の割合を市平均と全国平均で比較してみると、小学校男子以外は若干下回っている。
- ・特に小学校では、男女とも学年が上がるごとに視力低下が増加することから、視力低下の早期発見と専門医への早期受診、継続指導を勧め、家庭・学校でも経過観察を続けることが大切である。
- ・学校、家庭、専門医が連携を図り、1.0未満の児童・生徒一人一人に応じた指導・配慮はもちろんのこと、その他の児童・生徒に対しても日常生活の姿勢指導などを通して、視力低下の予防を働きかける必要がある。

(3) 疾病・異常の状況等(健康診断)

① 小学校

(男子)

()内は%

		男 子										計 (人)	平 29 年 市 (%)	成 度 平 均 (%)	平 28 年 全 国 平 均 (%)
		高 須 小	吉 里 小	東 江 小	大 江 小	西 江 小	今 尾 小	海 西 小	石 津 小	城 山 小	下 多 度 小				
検 査 人 員		175	45	36	36	41	118	48	168	145	52	864			
裸眼視力1.0未満		(27.4) 48	(33.3) 15	(25.0) 9	(22.2) 8	(22.0) 9	(27.1) 32	(22.9) 11	(34.5) 58	(28.3) 41	(28.8) 15	246	(28.47)	(28.28)	
眼の疾病・異常		(4.6) 8	(8.9) 4	(5.6) 2	(2.8) 1	(7.3) 3	(10.2) 12	(10.4) 5	(6.5) 11	(6.2) 9	(11.5) 6	61	(7.06)	(5.75)	
難聴		0	0	0	0	0	0	0	0	(0.7) 1	0	1	(0.12)	(0.50)	
耳鼻咽喉頭	耳疾患	(7.4) 13	(8.9) 4	(2.8) 1	(8.3) 3	(2.4) 1	(3.4) 4	(6.3) 3	(4.8) 8	(3.4) 5	(5.8) 3	45	(5.21)	(6.25)	
	鼻・副鼻腔疾患	(14.9) 26	(13.3) 6	(11.1) 4	(19.4) 7	(12.2) 5	(9.3) 11	(14.6) 7	(12.5) 21	(7.6) 11	(13.5) 7	105	(12.15)	(15.79)	
	口腔咽喉頭疾患・異常	(1.1) 2	(11.1) 5									7	(0.81)	(1.49)	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	(33.1) 58	(22.2) 10	(30.6) 11	(38.9) 14	(51.2) 21	(24.6) 29	(20.8) 10	(31.5) 53	(24.8) 36	256	(29.63)	(25.32)	
		未処置歯のある者	(26.9) 47	(42.2) 19	(8.3) 3	(22.2) 8	(19.5) 8	(26.3) 31	(22.9) 11	(20.8) 35	(25.5) 37	211	(24.42)	(25.23)	
	顎 関 節	(3.4) 6										6	(0.69)	(0.13)	
	歯 列 ・ 咬 合	(28.0) 49	(4.4) 2	(5.6) 2					(1.2) 2	(3.4) 5	(5.8) 3	63	(7.29)	(4.53)	
	歯 垢 の 状 態	(6.3) 11					(10.2) 12		(1.8) 3	(1.4) 2		28	(3.24)	(3.63)	
	歯 肉 の 状 態	(5.7) 10	(2.2) 1				(0.8) 1		(0.6) 1	(2.1) 3		16	(1.85)	(2.25)	
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常	(0.6) 1						(14.6) 7		(1.4) 2	(1.9) 1	11	(1.27)	(6.77)	
	小 6 の DMF 歯 数	1.25	0.25	0.33	1.09	0.75	0.26	0.6	0.8	0.22	0.65	6.2	(0.72)		
	栄 養 不 良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)		
栄 養	肥 満 傾 向		(6.7) 3							(2.8) 4	(3.8) 2	9	(1.04)	(1.81)	
	脊 柱 ・ 胸 郭 異 常	(1.1) 2	(6.7) 3				(0.8) 1		(0.6) 1	(2.1) 3		10	(1.16)	(1.91)	
皮 膚	アトピー性皮膚炎	(1.7) 3	(4.4) 2		(8.3) 3		(4.2) 5		(1.2) 2	(1.4) 2	(5.8) 3	20	(2.31)	(3.47)	
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患		(2.2) 1			(4.9) 2						3	(0.35)	(0.54)	
結 核		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.00)	
結核検診	委員会要検討	0	0	0	0	(2.8) 1	0	0	0	0	0	1	(0.12)		
	精密検査対象	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.13)	
心臓の疾病・異常			(2.2) 1			(2.4) 1	(0.8) 1	(6.3) 3	(1.8) 3		(9.6) 5	14	(1.62)	(0.72)	
心 電 図 異 常		(3.4) 6			(2.8) 1	(2.4) 1		(6.3) 3		(0.7) 1		12	(1.39)	(2.82)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

※小6のDMF歯数は男女共通の数値。

(男子の続き)

()内は%

		男 子											計 (人)	平 成 29 年 市 (%)	成 度 均 (%)	平 成 28 年 全 国 平 均 (%)	成 度 均 (%)
		高 須 小	吉 里 小	東 江 小	大 江 小	西 江 小	今 尾 小	海 西 小	石 津 小	城 山 小	下 多 度 小						
尿 検 査	蛋 白 検 出	(0.6) 1	0	0	0	0	0	0	(4.2) 7	0	(3.8) 2	10	(1.16)	(0.52)			
	尿 糖 検 出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.06)			
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息	(1.1) 2	0	(2.8) 1	(2.8) 1	0	(1.7) 2	0	(3.6) 6	(6.9) 10	(5.8) 3	25	(2.89)	(4.40)			
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	0	0	0	0	0	(1.9) 1	1	(0.12)				
		2 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)			
	腎 性 糖 尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)				
	腎 臓 疾 患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.18)			
	言 語 障 害	(1.1) 2	(4.4) 2	0	0	(2.4) 1	0	(2.1) 1	0	0	(1.9) 1	7	(0.81)	(0.57)			
	食物アレルギー	(2.3) 4	(8.9) 4	(5.6) 2	(2.8) 1	(9.8) 4	(8.5) 10	(8.3) 4	(7.7) 13	(6.9) 10	(9.6) 5	57	(6.60)				
	アナフィラキシー	(1.7) 3	0	0	0	0	(0.8) 1	0	(1.8) 3	(0.7) 1	(1.9) 1	9	(1.04)				
	その他の疾病異常	(5.7) 10	(4.4) 2	(2.8) 1	0	(9.8) 4	(2.5) 3	0	(5.4) 9	(5.5) 8	(11.5) 6	43	(4.98)	(3.47)			
発 育 の 評 価 (成長曲線の異常)		(1.1) 2	(6.7) 3	(2.8) 1	0	0	(2.5) 3	(4.2) 2	0	(1.4) 2	(1.9) 1	14	(1.62)				
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ぜ ん 息	(0.6) 1	0	(2.8) 1	(2.8) 1	0	(0.8) 1	0	(3.6) 6	(0.7) 1	(3.8) 2	13	(1.50)				
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	(0.6) 1	0	0	(2.8) 1	0	0	0	(1.2) 2	(0.7) 1	(1.9) 1	6	(0.69)				
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎	(0.6) 1	(2.2) 1	(2.8) 1	0	0	0	0	(4.2) 7	0	(3.8) 2	12	(1.39)				
	食物アレルギー	(2.3) 4	(2.2) 1	(2.8) 1	(2.8) 1	(2.4) 1	(2.5) 3	0	(7.7) 13	(1.4) 2	(5.8) 3	29	(3.36)				
	アナフィラキシー	(1.7) 3	0	0	0	0	(0.8) 1	0	(1.8) 3	(0.7) 1	(1.9) 1	9	(1.04)				
	ア レ ル ギ ー 性 鼻	(1.1) 2	(4.4) 2	(5.6) 2	0	0	(0.8) 1	0	(6.0) 10	(0.7) 1	(3.8) 2	20	(2.31)				

(女子)

()は%

			女 子											平 29 年 度 市 (%)	成 度 均 (%)	平 28 年 度 全 国 平 均 (%)
			高 須 小	吉 里 小	東 江 小	大 江 小	西 江 小	今 尾 小	海 西 小	石 津 小	城 山 小	下 多 度 小	計 (人)			
検 査 人 員			162	36	34	33	47	102	52	155	130	48	799			
裸眼視力1.0未満			(27.2) 44	(44.4) 16	(32.4) 11	(42.4) 14	(29.8) 14	(29.4) 30	(32.7) 17	(43.9) 68	(28.5) 37	(12.5) 6	257	(32.17)	(34.78)	
眼 の 疾 病 ・ 異 常			(3.7) 6	(2.8) 1	(17.6) 6		(6.4) 3	(5.9) 6	(7.7) 4	(5.8) 9	(4.6) 6	(8.3) 4	45	(5.63)	(4.99)	
難 聴			(0.6) 1										1	(0.13)	(0.64)	
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患		(7.4) 12	(2.8) 1	(2.9) 1	(3.0) 1	(2.1) 1	(5.9) 6		(1.3) 2	(3.1) 4		28	(3.50)	(5.92)	
	鼻・副鼻腔疾患		(14.8) 24	(8.3) 3	(8.8) 3	(15.2) 5	(6.4) 3	(11.8) 12	(7.7) 4	(7.7) 12	(3.8) 5	(8.3) 4	75	(9.39)	(9.89)	
	口腔咽喉頭疾患・異常		(0.6) 1	(5.6) 2									3	(0.38)	(1.27)	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	(40.1) 65	(19.4) 7	(41.2) 14	(18.2) 6	(51.1) 24	(29.4) 30	(23.1) 12	(32.3) 50	(30.8) 40	(27.1) 13	261	(32.67)	(24.12)	
		未処置歯のある者	(32.7) 53	(25.0) 9	(17.6) 6	(12.1) 4	(27.7) 13	(11.8) 12	(3.8) 2	(21.9) 34	(17.7) 23	(29.2) 14	170	(21.28)	(23.03)	
	顎 関 節		(4.3) 7										7	(0.88)	(0.14)	
	歯 列 ・ 咬 合		(35.8) 58		(17.6) 6		(2.1) 1			(0.6) 1	(2.3) 3	(2.1) 1	70	(8.76)	(5.00)	
	歯 垢 の 状 態		(2.5) 4	(2.8) 1				(1.0) 1		(1.9) 3	(0.8) 1		10	(1.25)	(2.64)	
	歯 肉 の 状 態												0	(0.00)	(1.72)	
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常		(1.2) 2						(23.1) 12				14	(1.75)	(6.78)	
	小 6 の DMF 歯 数		1.25	0.25	0.33	1.09	0.75	0.26	0.6	0.8	0.22	0.65	6.2	(0.78)		
栄 養	栄 養 不 良												0	(0.00)	(1.24)	
	肥 満 傾 向						(2.1) 1			(2.3) 3		4	(0.50)			
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常				(5.6) 2							(1.5) 2		4	(0.50)	(1.75)	
皮 膚	アトピー性皮膚炎		(1.2) 2	(5.6) 2	(5.9) 2	(3.0) 1		(1.0) 1		(3.2) 5	(0.8) 1	(8.3) 4	18	(2.25)	(2.88)	
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患			(2.8) 1									1	(0.13)	(0.51)	
結 核													0	(0.00)	(0.00)	
結 核 検 診	委員会要検討										(0.8) 1	(2.1) 1	2	(0.25)		
	精密検査対象										(0.8) 1	(2.1) 1	2	(0.25)	(0.13)	
心臓の疾病・異常				(5.6) 2	(2.9) 1	(3.0) 1		(2.0) 2		(0.6) 1		(2.1) 1	8	(1.00)	(0.70)	
心 電 図 異 常			(1.2) 2	(5.6) 2					(1.9) 1			(2.1) 1	6	(0.75)	(2.04)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

※小6のDMF歯数は男女共通の数値。

(女子の続き)

()内は%

		女 子											平 成 29 年 度 市 平 均 (%)	平 成 28 年 度 全 国 平 均 (%)
		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	計 (人)		
尿検査	蛋白検出	(1.9) 3	0	0	0	0	0	0	(1.3) 2	0	(8.3) 4	9	(1.13)	(1.00)
	尿糖検出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.08)
その他疾病・異常	ぜん息	(0.6) 1	0	(5.9) 2	0	(4.3) 2	(2.0) 2	0	(2.6) 4	(3.1) 4	(2.1) 1	16	(2.00)	(2.95)
	糖尿病													
	1 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	
	2 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	
	腎性糖尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	
	腎臓疾患	0	0	0	0	0	0	0	(0.6) 1	0	0	1	(0.13)	(0.17)
	言語障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.29)
	食物アレルギー	0	(11.1) 4	(2.9) 1	0	(4.3) 2	0	0	(3.9) 6	(4.6) 6	(4.2) 2	21	(2.63)	
	アナフィラキシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(2.1) 1	1	(0.13)	
	その他の疾病異常	(1.9) 3	(5.6) 2	(5.9) 2	0	(4.3) 2	(1.0) 1	(1.9) 1	(3.2) 5	(0.8) 1	(2.1) 1	18	(2.25)	(2.39)
発育の評価 (成長曲線の異常)		0	(2.8) 1	(5.9) 2	0	(2.1) 1	(2.9) 3	(3.8) 2	0	0	(2.1) 1	10	(1.25)	
学校生活管理指導表活用者	気管支ぜん息	(0.6) 1	0	(5.9) 2	0	0	0	0	(2.6) 4	(1.5) 2	(2.1) 1	10	(1.25)	
	アトピー性皮膚炎	(1.2) 2	(2.8) 1	(5.9) 2	0	0	0	0	(2.6) 4	0	(2.1) 1	10	(1.25)	
	アレルギー性結膜炎	0	0	(5.9) 2	0	0	0	0	(1.9) 3	(0.8) 1	0	6	(0.75)	
	食物アレルギー	0	(2.8) 1	(2.9) 1	0	0	0	0	(3.9) 6	(1.5) 2	(4.2) 2	12	(1.50)	
	アナフィラキシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(2.1) 1	1	(0.13)	
	アレルギー性鼻炎	0	0	(5.9) 2	(3.0) 1	0	0	0	(1.9) 3	(1.5) 2	(2.1) 1	9	(1.13)	

②中学校 (男子)

()内は%

			男 子					
			日 新 中	平 田 中	城 南 中	計	平 29 市 (年 平 %)	成 度 均 (平 28 全 国 平 %)
検 査 人 員			198	95	176	469		
裸 眼 視 力 1.0 未 満			(33.3) 66	(41.1) 39	(48.3) 85	190	(40.51)	(49.45)
眼 の 疾 病 ・ 異 常			(7.1) 14	(8.4) 8	(2.8) 5	27	(5.76)	(5.67)
難 聴			0	0	0	0	(0.00)	(0.30)
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患		(6.1) 12	(6.3) 6	0	18	(3.84)	(5.27)
	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患		(9.6) 19	(7.4) 7	(14.8) 26	52	(11.09)	(13.27)
	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常		0	(2.1) 2	0	2	(0.43)	(0.77)
歯 ・ 口 腔	う 歯	処 置 完 了 者	(7.1) 14	(12.6) 12	(40.9) 72	98	(20.90)	(19.86)
		未 処 置 の 歯 者	(24.7) 49	(12.6) 12	(9.1) 16	77	(16.42)	(16.42)
	顎 関 節		(3.5) 7	(3.2) 3	0	10	(2.13)	(0.37)
	歯 列 ・ 咬 合		(48.5) 96	(3.2) 3	(6.3) 11	110	(23.45)	(5.15)
	歯 垢 の 状 態		(26.8) 53	(4.2) 4	(8.5) 15	72	(15.35)	(6.72)
	歯 肉 の 状 態		(20.7) 41	(1.1) 1	(8.0) 14	56	(11.94)	(5.65)
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常		(9.1) 18	0	0	18	(3.84)	(4.52)
	中 1 の DMF 歯 数		0.52	0.27	0.93	1.72	(0.37)	
栄 養	栄 養 不 良		0	0	0	0	(0.00)	(1.10)
	肥 満 傾 向		0	(1.1) 1	(1.1) 2	3	(0.64)	
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常			(1.5) 3	(6.3) 6	0	9	(1.92)	(3.28)
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎		(5.6) 11	(2.1) 2	(4.5) 8	21	(4.48)	(2.85)
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患		0	0	0	0	(0.00)	(0.25)
結 核			0	0	0	0	(0.00)	(0.00)
結 核 検 診	委 員 会 要 検 討		0	(1.1) 1	(0.6) 1	2	(0.43)	
	精 密 検 査 対 象		0	0	(0.6) 1	1	(0.21)	(0.08)
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常			(0.5) 1	(3.2) 3	(2.8) 5	9	(1.92)	(0.85)
心 電 図 異 常			(1.0) 2	(4.2) 4	(1.1) 2	8	(1.71)	(3.56)

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内
※中1のDMF歯数は男女共通の数値。

1 蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(男子の続き)

()内は%

		男 子					
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計	平 29 市 (年 平 %)	成 平 28 全 国 平 均 (年 平 %)
尿 検 査	蛋 白 検 出	(17.2) 34	(15.8) 15	(1.1) 2	51	(10.87)	(2.89)
	尿 糖 検 出	0	0	0	0	(0.00)	(0.12)
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息	(3.0) 6	(3.2) 3	(4.5) 8	17	(3.62)	(3.45)
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	(0.00)	
		2 型	(0.5) 1	0	1	(0.21)	
	腎 性 糖 尿	0	0	0	0	(0.00)	
	腎 臓 疾 患	(0.5) 1	(3.2) 3	(1.1) 2	6	(1.28)	(0.22)
	言 語 障 害	0	0	0	0	(0.00)	(0.10)
	食 物 ア レ ル ギ ー	(6.1) 12	(4.2) 4	(8.5) 15	31	(6.61)	
	ア ナ フィ ラ キ シ ー	(0.5) 1	0	0	1	(0.21)	
	そ の 他 の 疾 病 常 異	(5.6) 11	(3.2) 3	(5.1) 9	23	(4.90)	(3.06)
発 育 の 評 価 (成 長 曲 線 の 異 常)		(0.5) 1	(1.1) 1	(1.7) 3	5	(1.07)	
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ゼ ん 息	(1.5) 3	(2.1) 2	0	5	(1.07)	
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	0	0	0	0	(0.00)	
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎	(0.5) 1	0	0	1	(0.21)	
	食 物 ア レ ル ギ ー	(1.0) 2	(1.1) 1	0	3	(0.64)	
	ア ナ フィ ラ キ シ ー	(0.5) 1	0	0	1	(0.21)	
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎	(0.5) 1	0	(1.1) 2	3	(0.64)	

(女子)

()内は%

		女 子					平 成 29 年 平 均 (%)	平 成 28 年 全 国 平 均 (%)
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計			
検 査 人 員		175	95	217	487			
裸 眼 視 力 1.0 未 満		(50.9) 89	(45.3) 43	(53.9) 117	249	(51.13)	(60.06)	
眼 の 疾 病 ・ 異 常		(5.7) 10	(9.5) 9	(5.1) 11	30	(6.16)	(4.54)	
難 聴		0	0	(0.5) 1	1	(0.21)	(0.32)	
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患	(3.4) 6	(5.3) 5	0	11	(2.26)	(3.63)	
	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	(3.4) 6	(6.3) 6	(6.5) 14	26	(5.34)	(9.68)	
	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	0	0	0	0	(0.00)	(0.61)	
歯 ・ 口 腔	う 歯	処 置 完 了 者	(13.1) 23	(12.6) 12	(43.8) 95	130	(26.69)	(22.15)
		未 処 置 の 歯 有 る 者	(20.0) 35	(13.7) 13	(7.4) 16	64	(13.14)	(16.60)
	顎 関 節		(6.3) 11	(1.1) 1	0	12	(2.46)	(0.50)
	歯 列 ・ 咬 合		(44.0) 77	(4.2) 4	(5.1) 11	92	(18.89)	(5.60)
	歯 垢 の 状 態		(20.0) 35	(1.1) 1	(3.2) 7	43	(8.83)	(4.03)
	歯 肉 の 状 態		(14.3) 25	0	(1.8) 4	29	(5.95)	(3.43)
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常		(9.7) 17	0	0	17	(3.49)	(3.71)
	中 1 歯 の DMF 数		0.52	0.27	0.93	1.72	(0.35)	
栄 養	栄 養 不 良		0	0	0	0	(0.00)	(0.81)
	肥 満 傾 向		0	0	0	0	(0.00)	
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常		(5.1) 9	0	0	9	(1.85)	(3.58)	
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎		(6.9) 12	(1.1) 1	(5.5) 12	25	(5.13)	(2.44)
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患		0	(3.2) 3	0	3	(0.62)	(0.19)
結 核		0	0	0	0	(0.00)	(0.00)	
結 核 検 診	委 員 会 要 検 討		0	0	(0.5) 1	1	(0.21)	
	精 密 検 査 対 象		0	0	(0.5) 1	1	(0.21)	
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		(2.3) 4	(5.3) 5	(0.9) 2	11	(2.26)	(0.83)	
心 電 図 異 常		(1.7) 3	(1.1) 1	(1.8) 4	8	(1.64)	(3.03)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(女子の続き)

()内は%

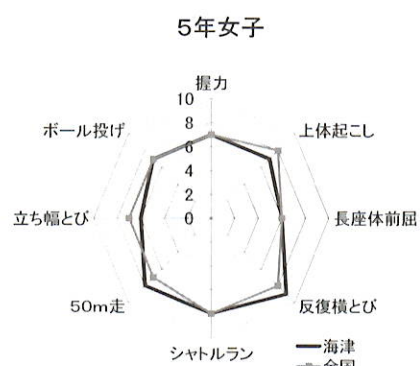
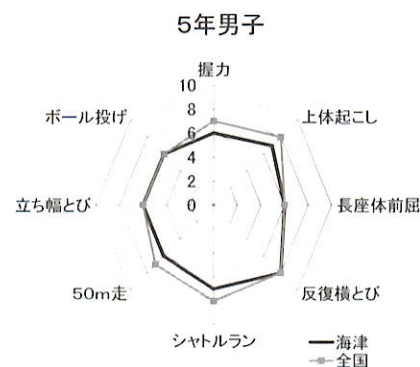
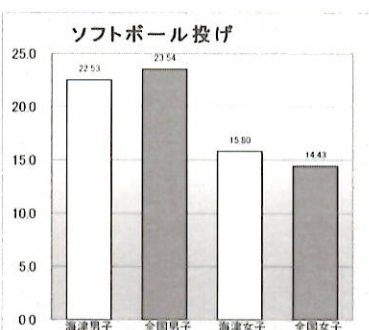
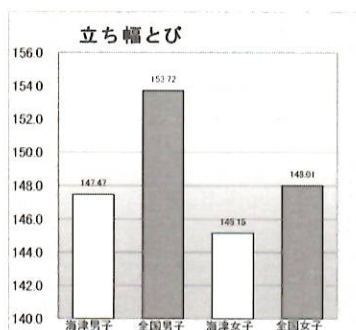
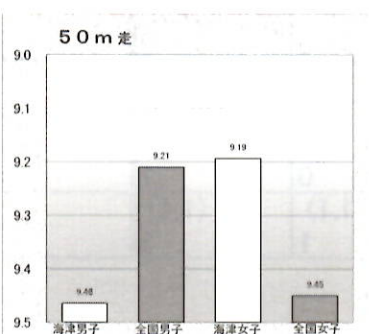
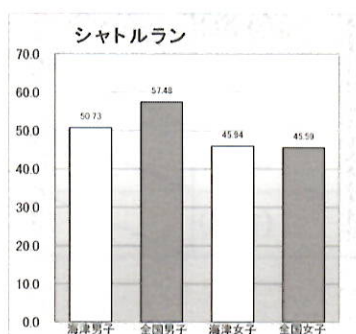
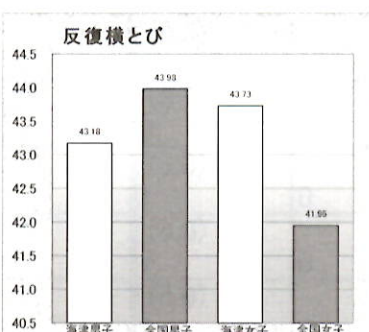
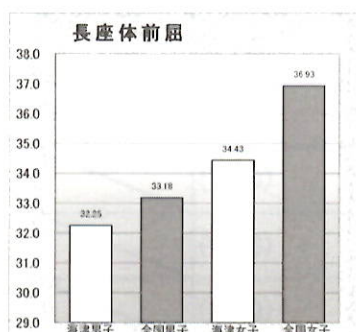
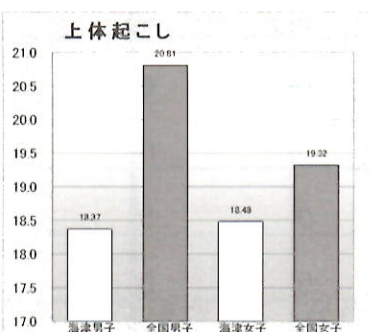
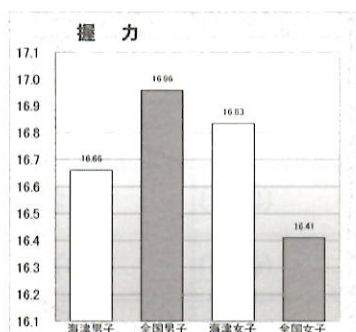
			女 子					平 29 市 (年 平 %)	成 度 均 (%)	平 28 全 国 (年 平 %)	成 度 均 (%)
			日 新 中	平 田 中	城 南 中	計					
尿 検 査	蛋 白 検 出		(11.4) 20	(10.5) 10	(2.3) 5	35	(7.19)	(2.25)			
	尿 糖 検 出		0	0	0	0	(0.00)	(0.13)			
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息		(1.7) 3	(2.1) 2	(2.8) 6	11	(2.26)	(2.33)			
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	0	(0.00)				
		2 型	0	0	0	0	(0.00)				
	腎 性 糖 尿		0	0	0	0	(0.00)				
	腎 臓 疾 患		(0.6) 1	0	0	1	(0.21)	(0.22)			
	言 語 障 害		(0.6) 1	0	0	1	(0.21)	(0.07)			
	食 物 ア レ ル ギ ー		(9.1) 16	(3.2) 3	(7.8) 17	36	(7.39)				
	ア ナ フィ ラ キ シ ー		0	0	(0.5) 1	1	(0.21)				
	そ の 他 の 疾 病 常 異		(4.0) 7	(5.3) 5	(2.8) 6	18	(3.70)	(2.66)			
	発 育 の 評 価 (成 長 曲 線 の 異 常)			(0.6) 1	0	(0.5) 1	2	(0.41)			
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ゼ ん 息		0	0	(0.5) 1	1	(0.21)				
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎		(1.1) 2	0	(0.5) 1	3	(0.62)				
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎		(0.6) 1	0	(0.9) 2	3	(0.62)				
	食 物 ア レ ル ギ ー		(1.7) 3	0	(1.8) 4	7	(1.44)				
	ア ナ フィ ラ キ シ ー		0	0	(0.5) 1	1	(0.21)				
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎		(2.3) 4	(1.1) 1	(1.4) 3	8	(1.64)				

Ⅲ. 体力の状況

(1) 小学校運動能力テストの結果

各種目別平均・全国との比較

平成 29 年 度 年 5	男 子				女 子			
	海 津		全 国		海 津		全 国	
テ ス ト 項 目	平 均	得 点	平 均	得 点	平 均	得 点	平 均	得 点
握 力 (kg)	16.66	6	16.96	7	16.83	7	16.41	7
上 体 起 こ し (cm)	18.37	7	20.81	8	18.48	7	19.32	8
長 座 体 前 屈 (cm)	32.25	6	33.18	6	34.43	6	36.93	7
反 復 横 と び (回)	43.18	8	43.98	8	43.73	9	41.95	8
シャトルラン (回)	50.73	7	57.48	8	45.94	8	45.59	7
50m 走 (秒)	9.46	6	9.21	7	9.19	8	9.45	7
立 ち 幅 と び (cm)	147.47	6	153.72	6	145.15	6	148.01	6
ボ ー ル 投 げ (m)	22.53	6	23.54	6	15.80	7	14.43	7



〈結 果〉

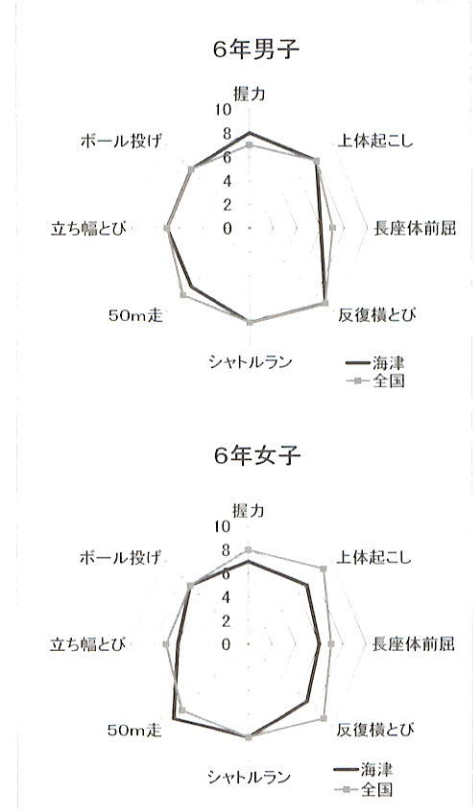
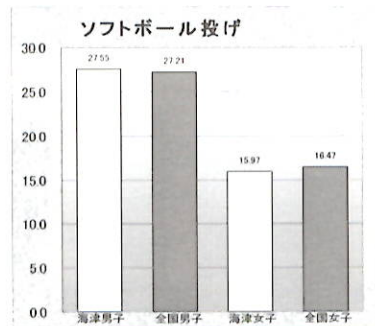
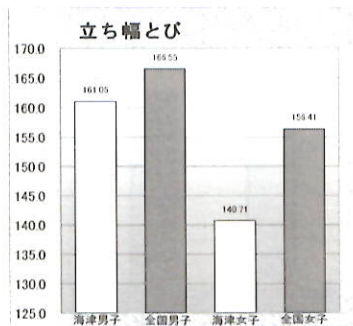
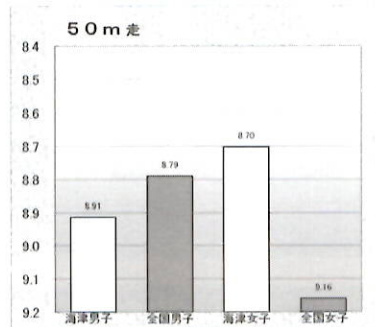
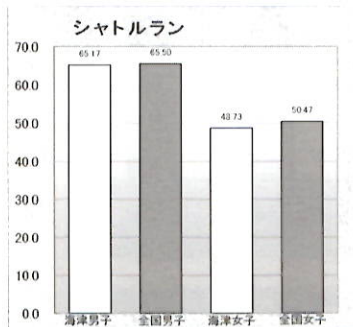
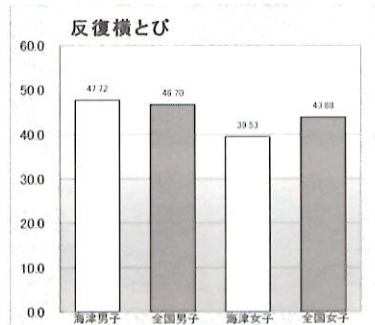
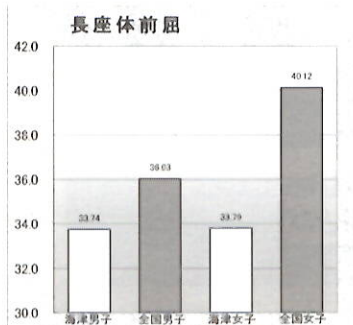
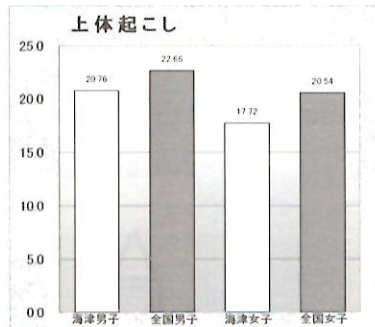
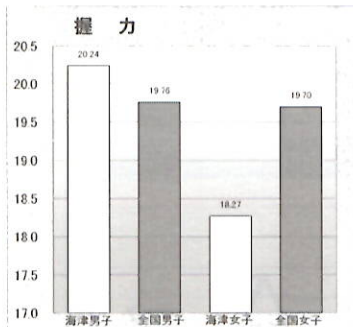
- ・5年生女子は反復横跳び、シャトルラン、50m走で全国平均を上回っている。5年生男子は、上体起こしをはじめとして4種目において全国平均を下回っている。
- ・6年生男子は握力が全国平均を上回っているがほぼ全国平均並みである。6年生女子は50m走では全国平均を上回っている。他の5種目は下回っている。

〈考 察〉

- ・海津市の児童は、50m走は比較的記録がよく、よさとしてとらえ、指導を継続していきたい。
- ・全国平均を下回る上体起こしについては、日常的な体力づくりや体づくりの授業の充実を図り、体力(記録)の向上につなげたい。
- ・特に6年女子については、結果を個別に見ていき、意欲的継続的に児童が体力の向上に取り組めるように指導、助言していく必要がある。

各種目別平均・全国との比較

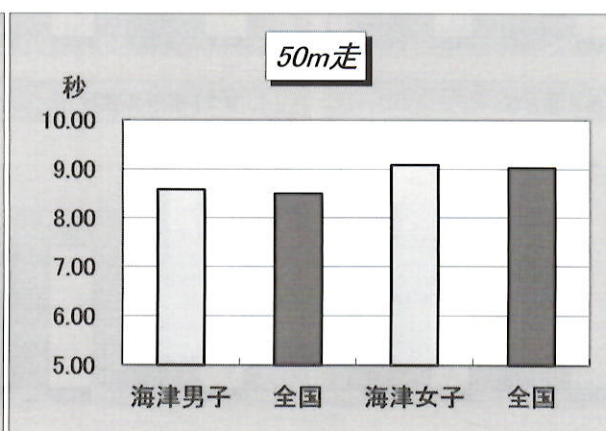
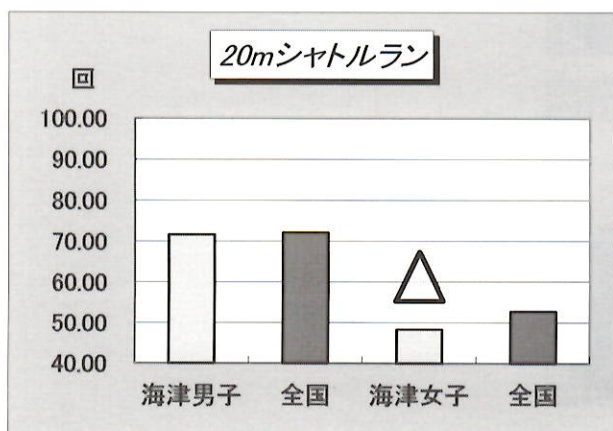
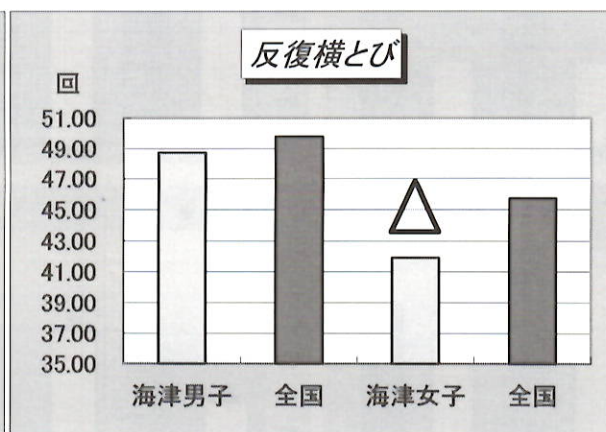
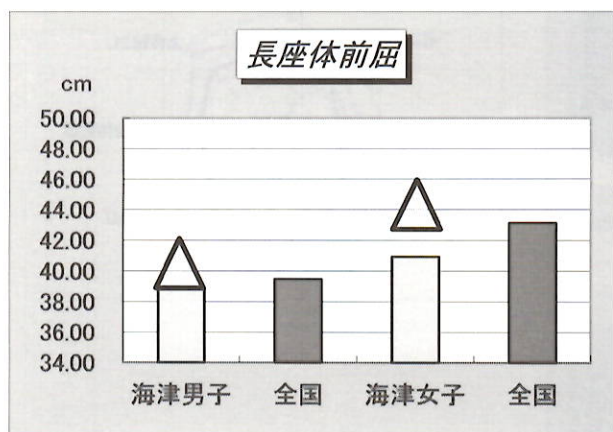
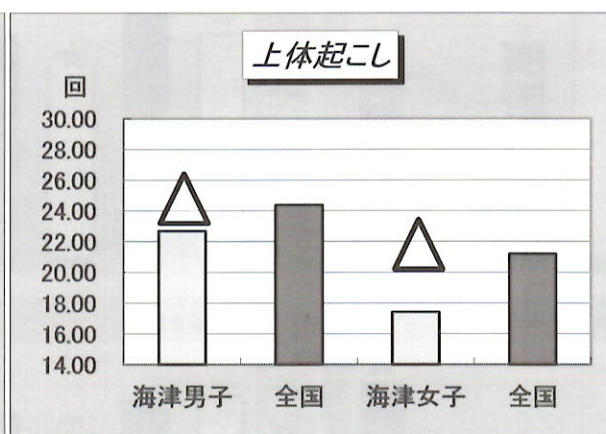
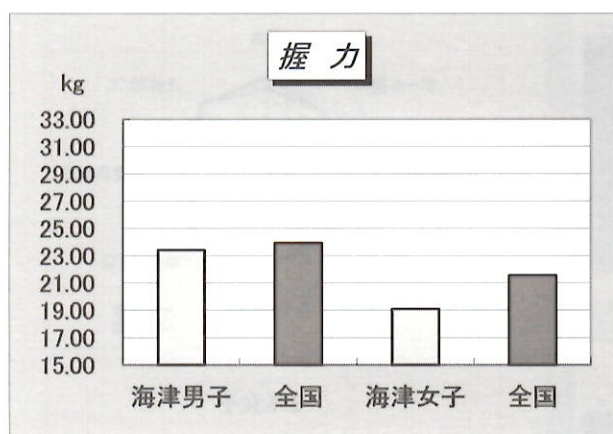
平成29年度 6	テスト項目	男 子				女 子			
		海 津		全 国		海 津		全 国	
		平 均	得 点	平 均	得 点	平 均	得 点	平 均	得 点
	握 力 (kg)	20.24	8	19.76	7	18.27	7	19.70	8
	上 体 起 こ し (cm)	20.76	8	22.66	8	17.72	7	20.54	9
	長 座 体 前 屈 (cm)	33.74	7	36.03	7	33.79	6	40.12	7
	反 復 横 と び (回)	47.72	9	46.70	9	39.53	7	43.88	9
	シャトルラン (回)	65.17	8	65.50	8	48.73	8	50.47	8
	50m 走 (秒)	8.91	8	8.79	8	8.70	9	9.16	8
	立 ち 幅 と び (cm)	161.05	7	166.55	7	140.71	6	156.41	7
	ボ ー ル 投 げ (m)	27.55	7	27.21	7	15.97	7	16.47	7



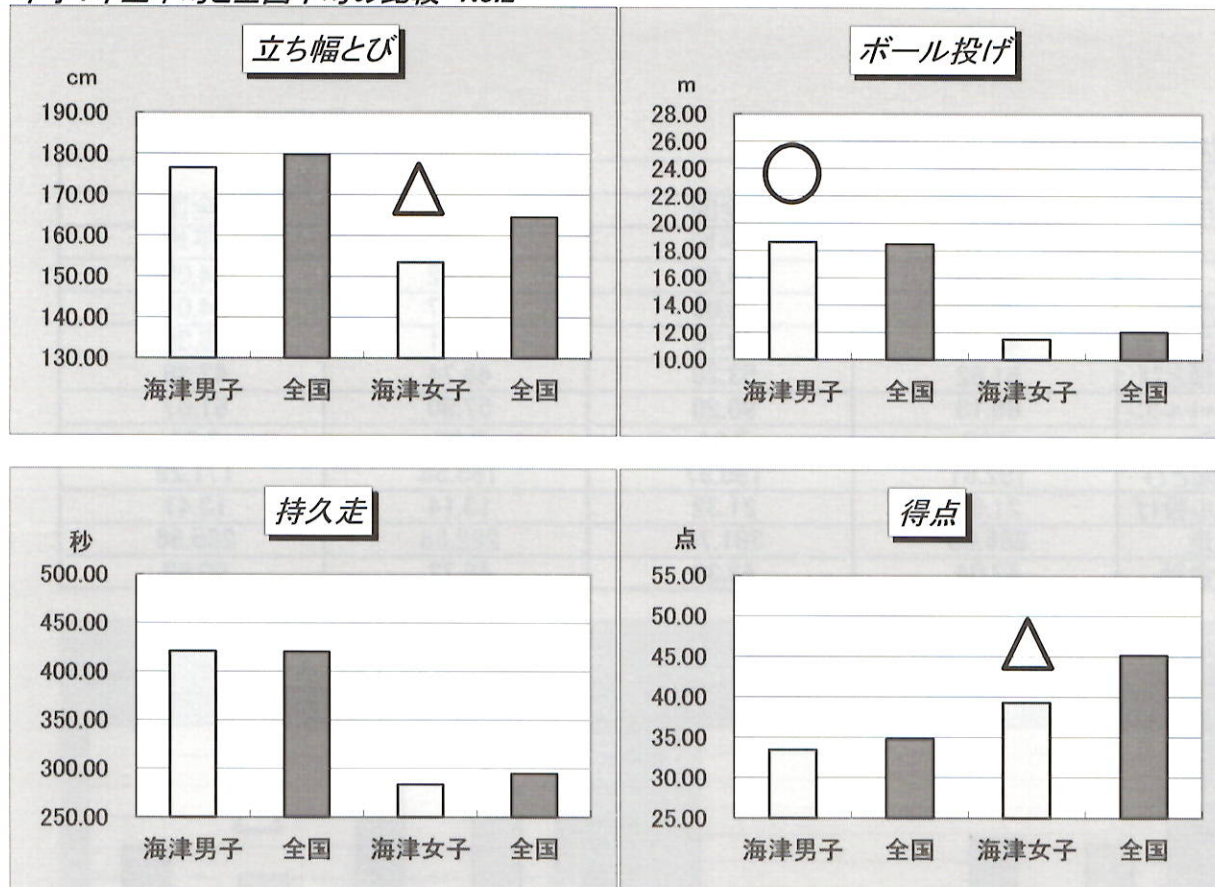
(2) 中学校運動能力テストの結果

中学1年生平均と全国平均の比較 No.1

平成29年度 1年生 種目	男子		女子	
	海津 平均	全国 平均	海津 平均	全国 平均
握力	23.42	23.93	19.10	21.57
上体起こし	22.69	24.39	17.42	21.21
長座体前屈	38.88	39.47	40.94	43.14
反復横とび	48.74	49.8	41.91	45.71
20mシャトルラン	71.68	72.17	48.34	52.74
50m走	8.59	8.5	9.08	9.02
立ち幅とび	176.52	179.75	153.45	164.5
ボール投げ	18.64	18.49	11.51	12.04
持久走	420.71	420.27	283.49	294.68
得点合計	33.45	34.75	39.30	45.13



中学1年生平均と全国平均の比較 No.2



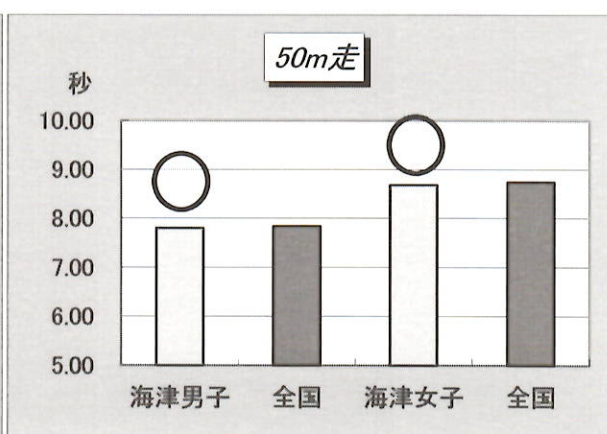
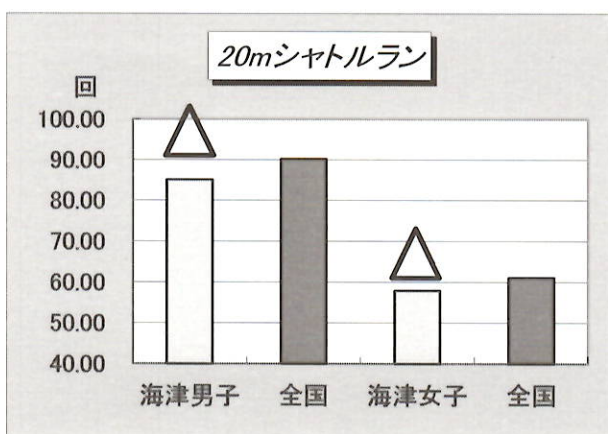
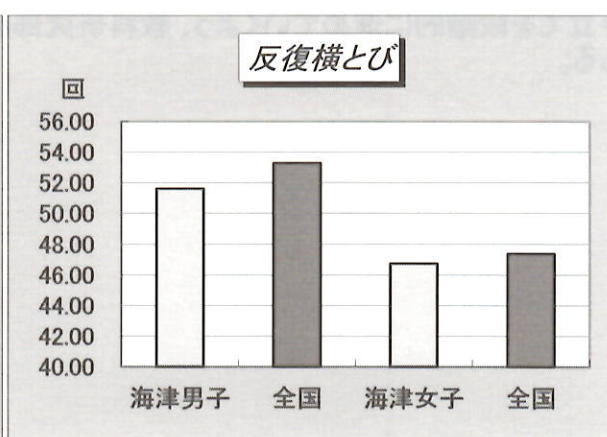
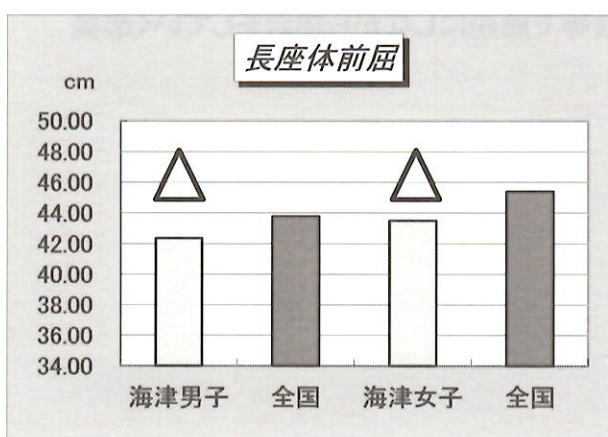
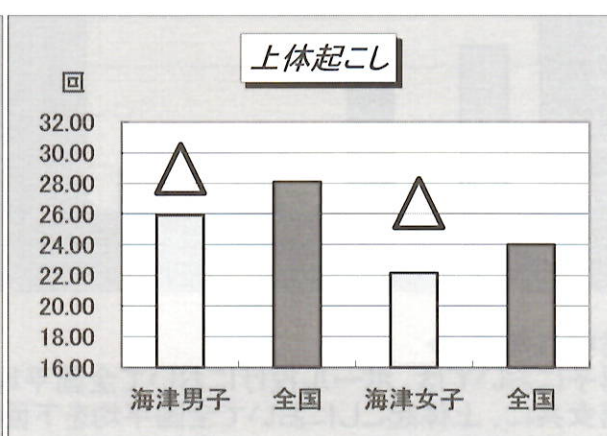
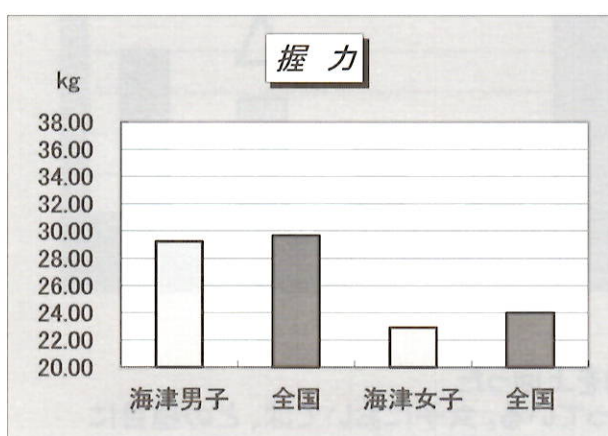
<考察(1年生)>

○男子においては、ボール投げにおいて全国平均を上回った

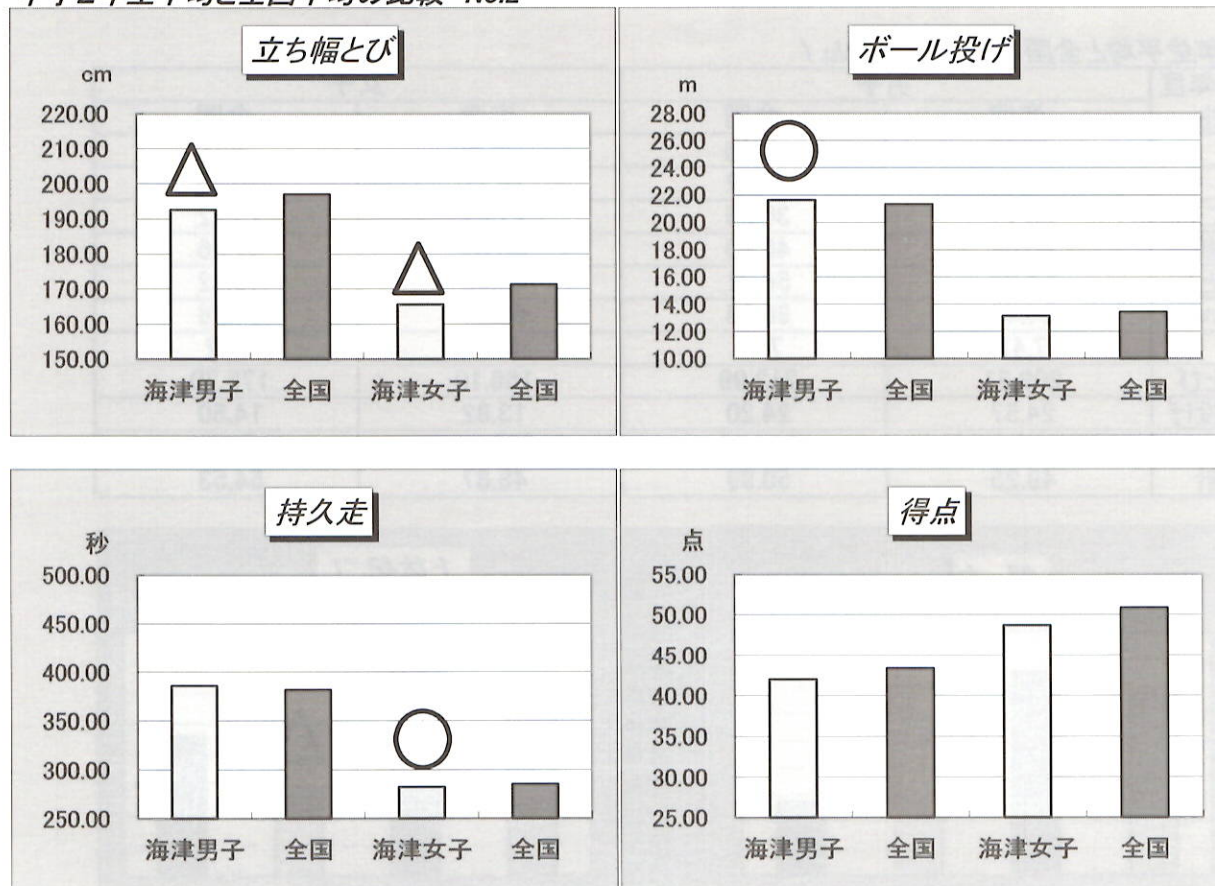
●男女共に、上体起こしにおいて全国平均を下回っている。女子においては、どの種目においても全国平均に至らない。小学校とも連携しながら、基礎的な体力の向上を図るための手立てを段階的に進めていくよう、教科研究部会等で話題にしながら検討をしていく必要がある。

中学2年生平均と全国平均の比較 No.1

平成29年度 2年生	男子		女子	
	海津	全国	海津	全国
種目	平均	平均	平均	平均
握力	29.24	29.66	22.92	24.00
上体起こし	25.92	28.09	22.17	24.01
長座体前屈	42.36	43.79	43.51	45.39
反復横とび	51.62	53.28	46.74	47.38
20mシャトルラン	85.13	90.29	57.90	61.07
50m走	7.80	7.84	8.68	8.74
立ち幅とび	192.61	196.97	165.56	171.29
ボール投げ	21.64	21.32	13.14	13.41
持久走	386.00	381.74	282.58	285.66
得点合計	42.04	43.39	48.72	50.83



中学2年生平均と全国平均の比較 No.2



<考察(2年生)>

○男子では、50m走とボール投げにおいて全国平均を上回った。

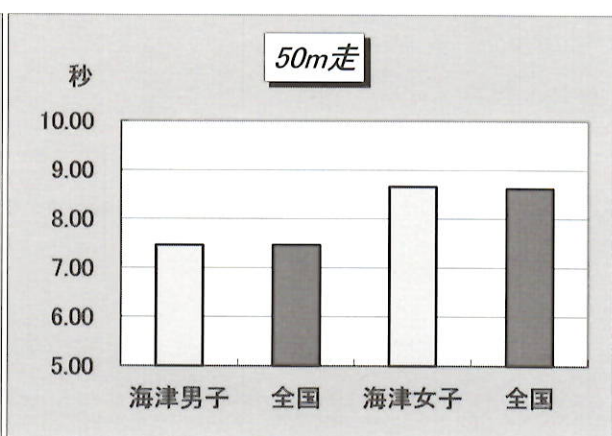
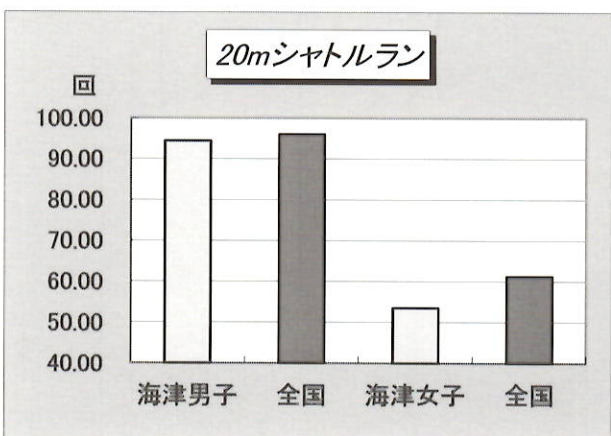
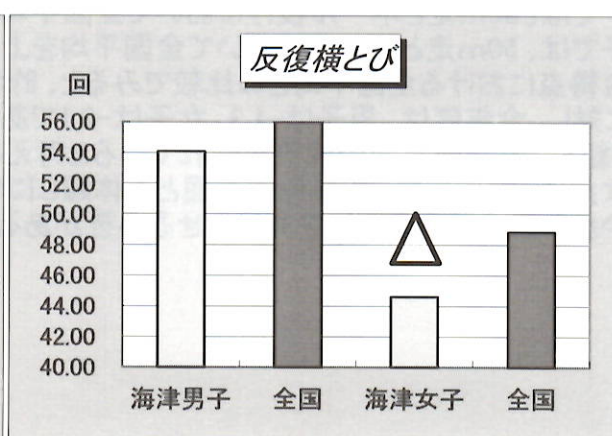
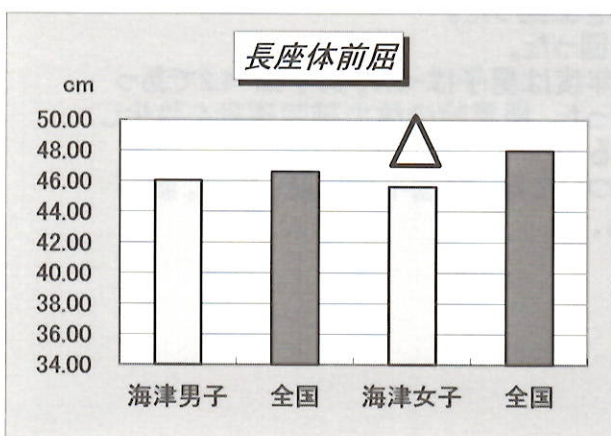
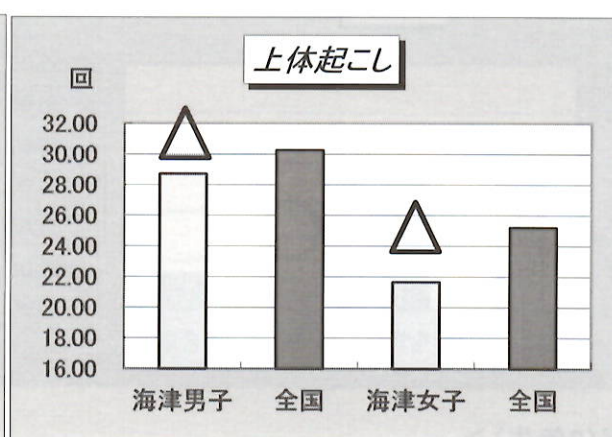
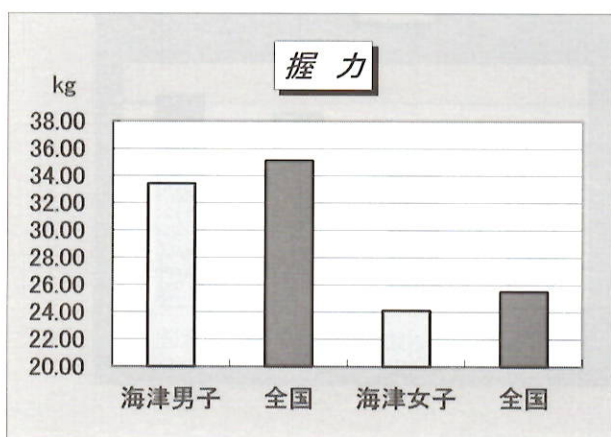
○女子では、50m走と持久走において全国平均を上回った。

○総合得点における全国平均との比較でみると、昨年度は男子は-2.7、女子は-4.2であったのに対し、今年度は、男子は-1.3、女子は-2.1であった。授業前の体力補強運動を強化して取り組んできた一年間の成果が表れていると考える。

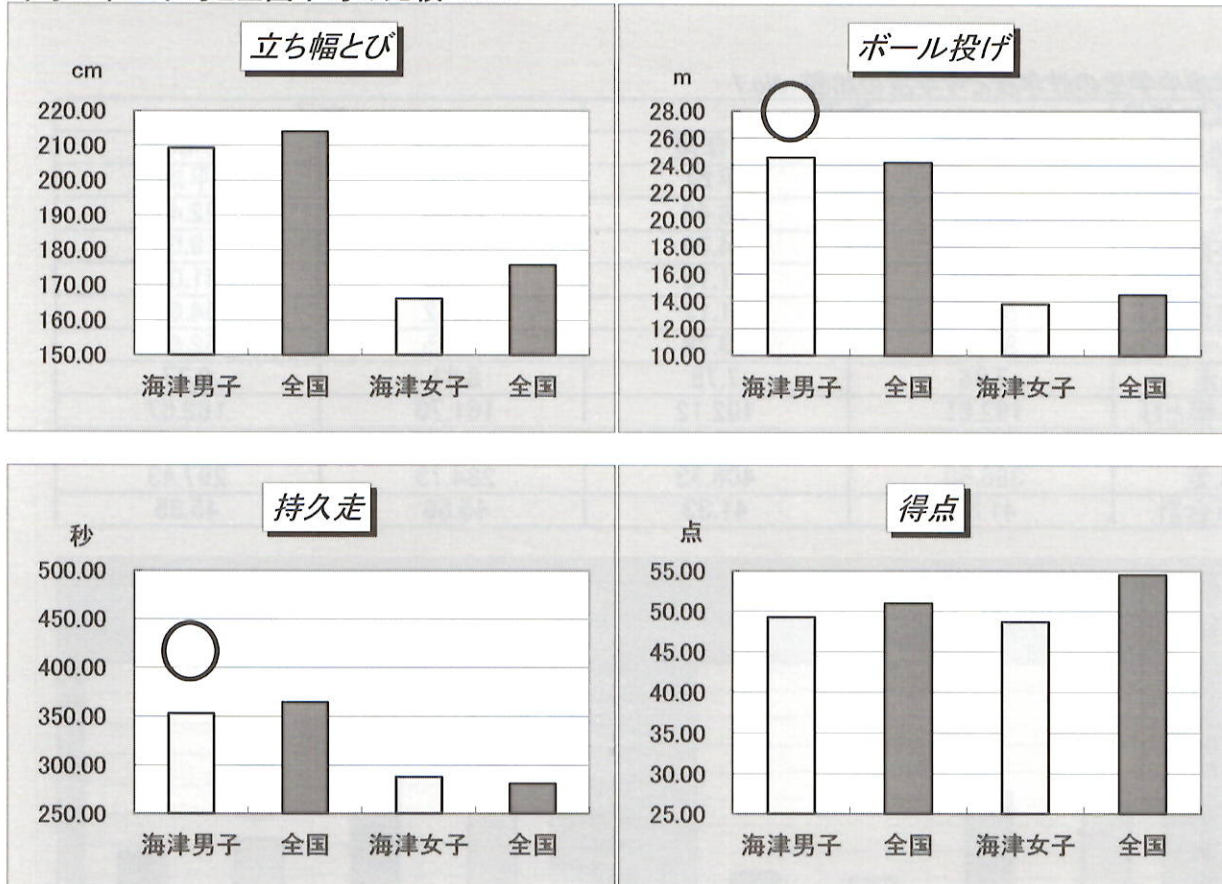
●男女共に、課題であった長座体前屈と上体起しについては、全国平均に至らない。腹筋運動や柔軟性を高める運動を充実させる必要がある。

中学3年生平均と全国平均の比較 No.1

平成29年度 3年生 種目	男子		女子	
	海津 平均	全国 平均	海津 平均	全国 平均
握力	33.42	35.12	24.11	25.50
上体起こし	28.71	30.26	21.67	25.22
長座体前屈	46.04	46.60	45.61	47.96
反復横とび	54.07	56.01	44.62	48.82
20mシャトルラン	94.44	96.03	53.51	61.26
50m走	7.47	7.47	8.66	8.62
立ち幅とび	209.31	213.99	166.10	175.70
ボール投げ	24.57	24.20	13.82	14.50
持久走	353.10	364.59	288.11	281.16
得点合計	49.25	50.99	48.67	54.53



中学3年生平均と全国平均の比較 No.2



<考察(3年生)>

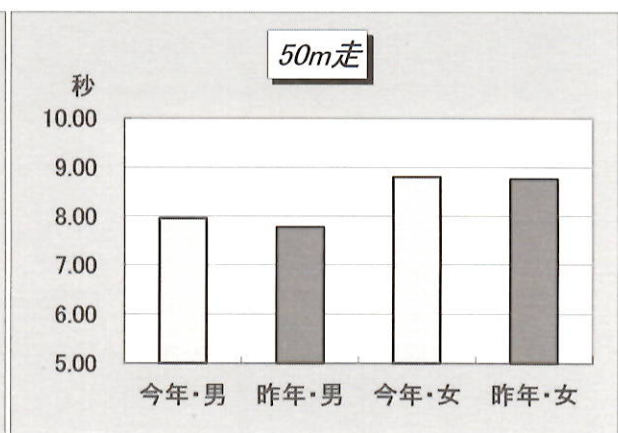
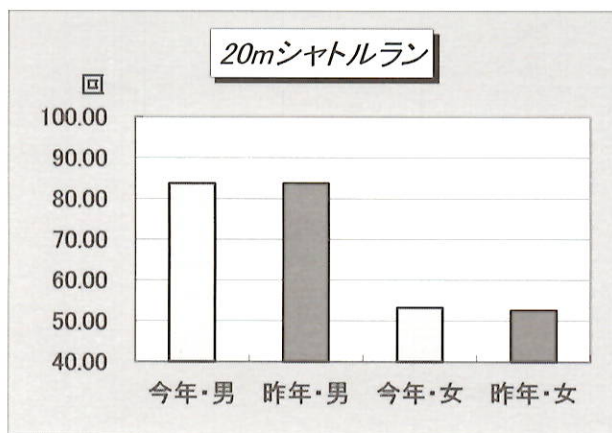
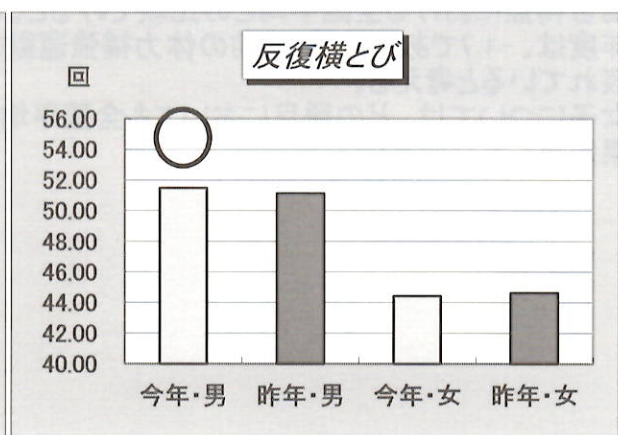
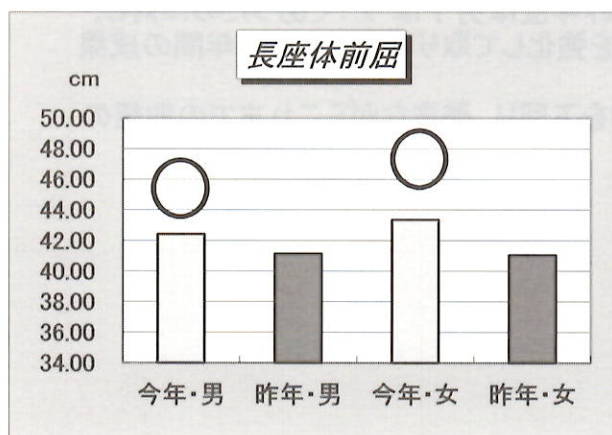
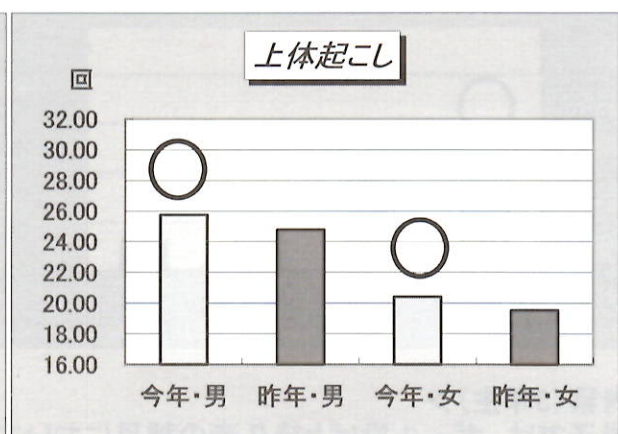
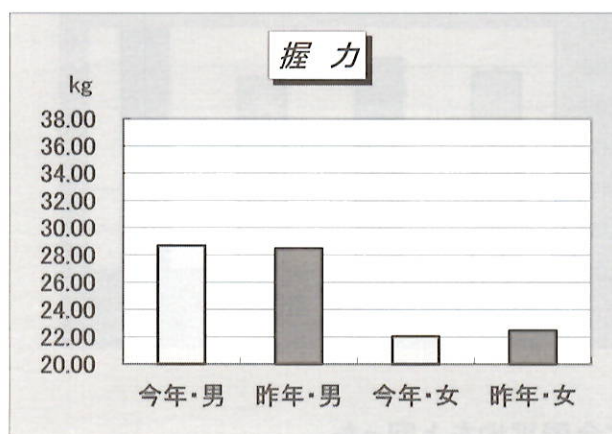
○男子では、ボール投げと持久走の種目において全国平均を上回った。

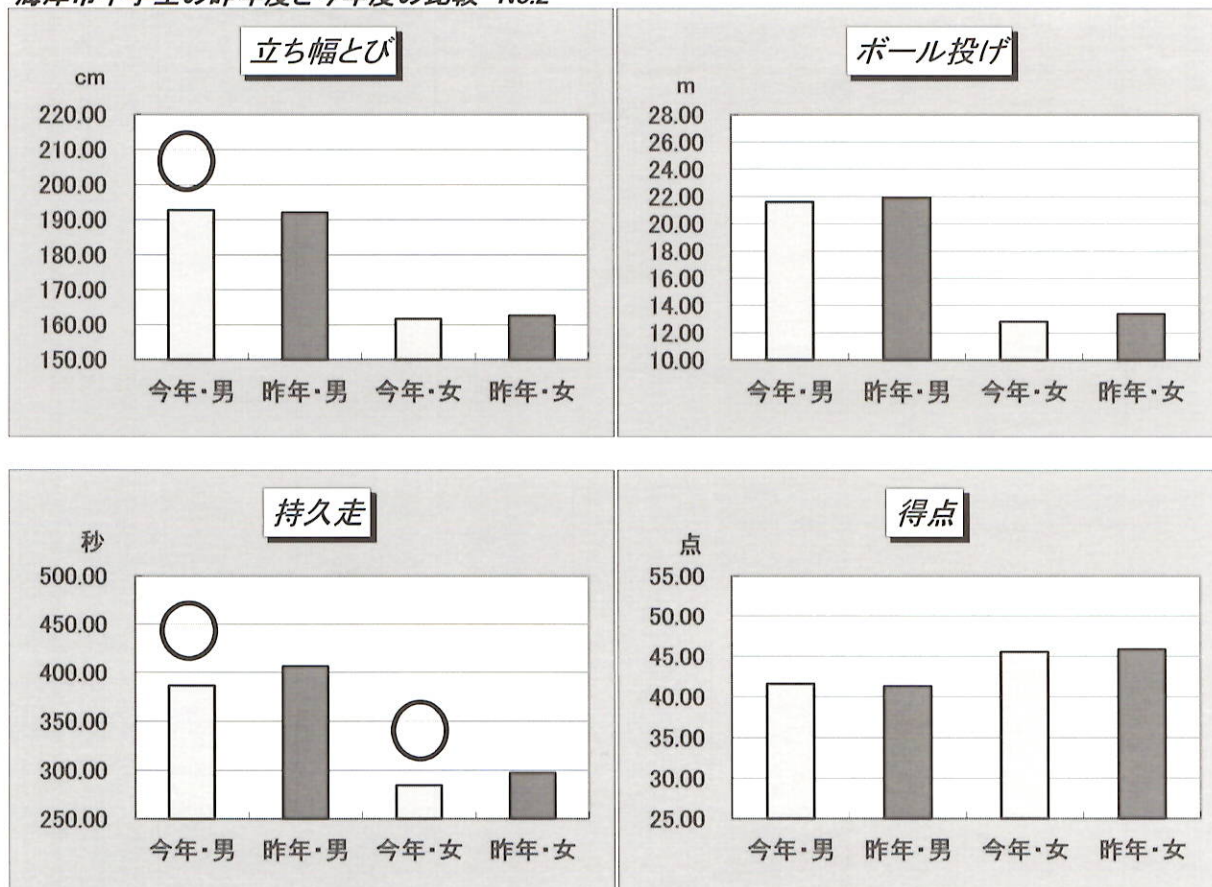
○総合得点における全国平均との比較でみると、昨年度は男子は-2.1であったのに対し、今年度は、-1.7であった。授業前の体力補強運動を強化して取り組んできた一年間の成果が表れていると考える。

●女子については、どの種目においても全国平均を下回り、残念ながらこれまでの取組の成果が見られなかった。

海津市中学生の昨年度と今年度の比較 No.1

平成29年度 海津市	男子		女子	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度
種目	平均	平均	平均	平均
握力	28.69	28.48	22.04	22.47
上体起こし	25.77	24.79	20.42	19.54
長座体前屈	42.43	41.15	43.35	41.07
反復横とび	51.48	51.12	44.42	44.63
20mシャトルラン	83.75	83.78	53.25	52.61
50m走	7.95	7.78	8.81	8.77
立ち幅とび	192.81	192.12	161.70	162.67
ボール投げ	21.62	21.91	12.82	13.39
持久走	386.60	406.33	284.73	297.43
得点合計	41.58	41.33	45.56	45.85





<考察(全体)>

昨年度に比べて、男子では6種目において、女子では4種目において記録の向上が見られた。しかし、記録が低下した種目もあり、前年比での向上があったかどうかは微妙である。今年度においては、特に、学校間による集団の実態や取り組み内容の差が大きく、一概に海津市全体としての成果の有無を図ることは難しい。しかし、これまで通り、体育の授業における運動量の確保や、部活動やクラブ活動も含め、それらの活動の最初には、柔軟やストレッチ、体づくり等の運動に更なる工夫を加え、適度な負荷のある運動によって体幹づくりに重点を置くことを実践していきたい。